

4月	単元名・教材名	詩を楽しもう・どきん いつも気をつけよう つづけてみよう(2)			
	指導目標	◎擬声語・擬態語・文末表現の響きやリズムから様子を想像し、それが表れるよう声に調子を付けて音読することができる。			
	言語活動	■様子が分かるように詩を音読する。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 扉の詩を読み、目次を見て上巻の国語の学習を見通す。2年生までの学習を想起し、「いつも気をつけよう」を読んで音読の観点を確認して、「どきん」の全文を声に出して読む。 2 「どきん」に音読記号を付けて練習し、クラス内で発表し合う。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習への期待感をもつことができるように演出を工夫する。 ・行末の擬声語、擬態語や二つの連の構成に注意させる。 ・音読記号はクラスで共通にする。 ・友達に伝えようという目的意識をもたせる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 扉の詩を読み、目次を見て上巻の国語の学習を見通す。2年生までの学習を想起し、「いつも気をつけよう」を読んで音読の観点を確認して、「どきん」の全文を声に出して読む。 2 「どきん」に音読記号を付けて練習し、クラス内で発表し合う。
学習活動	指導上の留意点				
1 扉の詩を読み、目次を見て上巻の国語の学習を見通す。2年生までの学習を想起し、「いつも気をつけよう」を読んで音読の観点を確認して、「どきん」の全文を声に出して読む。 2 「どきん」に音読記号を付けて練習し、クラス内で発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習への期待感をもつことができるように演出を工夫する。 ・行末の擬声語、擬態語や二つの連の構成に注意させる。 ・音読記号はクラスで共通にする。 ・友達に伝えようという目的意識をもたせる。 				
	(関) 音読やスピーチを楽しもうとしている。 (読) 詩に表現された様子がよく分かるように音読している。 (言) 擬声語・擬態語に注目し、それらによって様々な様子が表されることに気付いている。				
4月	単元名・教材名	音読しよう・きつつきの商売 ノートとなかよくなる国語辞典のつかい方(11)			
	指導目標	◎場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。 ○国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用することができる。			
	言語活動	■様子が分かるように音読する。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 学習計画を立てる。 2～4 「1」と「2」の二つの場面を比べながら「きつつきの商売」を読む。 5～7 音読したいと思った場面を選び、音読の練習をして、グループごとに発表する。 8～11 「かんぱん」を書き、友達と交流する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・思いを発表させ、教師が整理する。 ・「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」を確認する。 ・自分のめあてを声の大きさ・速さ、強弱、抑揚、間から考えさせる。 ・P21の作品例を見て、イメージをもたせる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 学習計画を立てる。 2～4 「1」と「2」の二つの場面を比べながら「きつつきの商売」を読む。 5～7 音読したいと思った場面を選び、音読の練習をして、グループごとに発表する。 8～11 「かんぱん」を書き、友達と交流する。
学習活動	指導上の留意点				
1 学習計画を立てる。 2～4 「1」と「2」の二つの場面を比べながら「きつつきの商売」を読む。 5～7 音読したいと思った場面を選び、音読の練習をして、グループごとに発表する。 8～11 「かんぱん」を書き、友達と交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを発表させ、教師が整理する。 ・「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」を確認する。 ・自分のめあてを声の大きさ・速さ、強弱、抑揚、間から考えさせる。 ・P21の作品例を見て、イメージをもたせる。 				
	(関) 物語の場面の様子に合わせて音読を工夫し、進んで発表しようとする。 (読) 物語の場面の様子の違いを意識して音読を工夫している。 (言) 国語辞典の使い方を理解し、活用について意識をもちながら、必要に応じて調べている。				
4月	単元名・教材名	漢字の音と訓・漢字の音と訓(2)			
	指導目標	◎漢字には音読みと訓読みがあることを理解することができる。			
	言語活動	■調べたことを生かして例文を作る。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 漢字の読み方に「音」と「訓」があることを知り、それぞれの特徴を考える。 2 漢字は読み方によって意味が変わる場合があることを知り、複数の読み方がある漢字を集める。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・音と訓の特徴を児童の言葉で発表させ、教師がまとめて板書する。 ・教科書の付録ページを活用する。 ・意味の違いが分かるように例文の作り方を示す。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 漢字の読み方に「音」と「訓」があることを知り、それぞれの特徴を考える。 2 漢字は読み方によって意味が変わる場合があることを知り、複数の読み方がある漢字を集める。
学習活動	指導上の留意点				
1 漢字の読み方に「音」と「訓」があることを知り、それぞれの特徴を考える。 2 漢字は読み方によって意味が変わる場合があることを知り、複数の読み方がある漢字を集める。	<ul style="list-style-type: none"> ・音と訓の特徴を児童の言葉で発表させ、教師がまとめて板書する。 ・教科書の付録ページを活用する。 ・意味の違いが分かるように例文の作り方を示す。 				
	(関) 漢字に音読みと訓読みがあることに興味をもち、確かめようとしている。 (言) 漢字に音と訓があることを理解している。				
4月	単元名・教材名	春の楽しみ・春の楽しみ(1)			
	指導目標	◎春の行事に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。			
	言語活動	■春の詩や歌を読んだり歌ったりして言葉集めをする。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 春の言葉集めをする。 ・春の詩や春の歌を歌い、春に関する言葉を見付ける。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の挿絵を参考にしたり、教師が写真や絵、実物を用意して示す。音楽の教科書等も参考にする。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 春の言葉集めをする。 ・春の詩や春の歌を歌い、春に関する言葉を見付ける。
学習活動	指導上の留意点				
1 春の言葉集めをする。 ・春の詩や春の歌を歌い、春に関する言葉を見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の挿絵を参考にしたり、教師が写真や絵、実物を用意して示す。音楽の教科書等も参考にする。 				
	(関) 春の行事にかかわる語句を思い浮かべ、交流したりノートに書いたりしようとしている。 (言) 春の行事にかかわる言葉を集め、知っている語句を増やしている。				
5月	単元名・教材名	しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう ・よい聞き手になろう きちんと伝えるために(4)			
	指導目標	◎話の中心に気を付けて聞き、質問したり、感想を述べたりできる。 ◎日常生活から話題を決め、適切な言葉遣いで筋道立てて話すことができる。			
	言語活動	■出来事の報告や説明をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問をしたりする。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 普段、友達の話の聞くときにどんなことに気を付けているか話し合う。 2 P34を読んで相手に分かりやすく説明するための注意点を話し合う。 3～4 グループで話したり、質問をしたり感想を言ったりする。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・音声CDを活用し、「よいしつもん」のポイントを整理する。 ・日常生活の中から話題を見付け、メモさせる。 ・グループでのやり取りを振り返って思ったことをノートに書かせる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 普段、友達の話の聞くときにどんなことに気を付けているか話し合う。 2 P34を読んで相手に分かりやすく説明するための注意点を話し合う。 3～4 グループで話したり、質問をしたり感想を言ったりする。
学習活動	指導上の留意点				
1 普段、友達の話の聞くときにどんなことに気を付けているか話し合う。 2 P34を読んで相手に分かりやすく説明するための注意点を話し合う。 3～4 グループで話したり、質問をしたり感想を言ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音声CDを活用し、「よいしつもん」のポイントを整理する。 ・日常生活の中から話題を見付け、メモさせる。 ・グループでのやり取りを振り返って思ったことをノートに書かせる。 				

	(関) 興味をもって話を聞き、進んで質問をしたり感想を言ったりしようとしている。 (話・聞) 話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を言ったりしている。 (言) 聞き手に伝わるように言葉を選んで話している。																							
5月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>漢字の広場①(2)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。 ○接続詞の使い方を意識しながら、文章の間違いを正したり、よりよい表現に直したりすることができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■絵を見て想像したことをもとに書く。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。</td> <td rowspan="2">・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。</td> </tr> <tr> <td>2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 示された人物や物の様子を提示された言葉を使って説明しようとする。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて文を見直している。 (言) 2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	漢字の広場①(2)	指導目標	◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。 ○接続詞の使い方を意識しながら、文章の間違いを正したり、よりよい表現に直したりすることができる。	言語活動	■絵を見て想像したことをもとに書く。		<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。</td> <td rowspan="2">・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。</td> </tr> <tr> <td>2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。	・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。	2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。		(関) 示された人物や物の様子を提示された言葉を使って説明しようとする。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて文を見直している。 (言) 2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。								
単元名・教材名	漢字の広場①(2)																							
指導目標	◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。 ○接続詞の使い方を意識しながら、文章の間違いを正したり、よりよい表現に直したりすることができる。																							
言語活動	■絵を見て想像したことをもとに書く。																							
	<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。</td> <td rowspan="2">・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。</td> </tr> <tr> <td>2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。	・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。	2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。																		
学習活動	指導上の留意点																							
1 教科書の絵を見て、描かれている動物や物、何かをしている人について説明する。	・主語と述語の整った文で説明させる。 ・「それで」「けれども」などの接続詞を使って、文と文をつなぐ。																							
2 2年生までに習った漢字を使って、絵に描いてあることを説明する文章を書く。																								
	(関) 示された人物や物の様子を提示された言葉を使って説明しようとする。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて文を見直している。 (言) 2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。																							
5月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>読んで、かんそうをもとう・イルカのねむり方 ありの行列(10)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎文章全体の構成「はじめ・中・おわり」を把握し、「段落」について知り、それぞれの段落の内容をとらえることができる。 ○感想文の書き方を知り、書いた感想を読み合っ、同じところや違うところを見つけて話し合うことができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■報告の文章を読み、感想をまとめる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。</td> <td rowspan="10">・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。</td> </tr> <tr> <td>2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。</td> </tr> <tr> <td>3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。</td> </tr> <tr> <td>5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)</td> </tr> <tr> <td>6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)</td> </tr> <tr> <td>7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。</td> </tr> <tr> <td>8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。</td> </tr> <tr> <td>10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 動物の生態についての研究・解明を扱った文章であることに興味をもち、進んで読もうとしている。 (読) ・「段落」や文章全体の構成を理解している。 ・「答え」にいたる過程や根拠を読み取っている。 ・文章を読んだ感想を交流し、とらえ方の違いに気付いている。 (書) 感想の書き方を知り、書いて交流している。 (言) 文章中に使われている接続語の働きを理解している。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	読んで、かんそうをもとう・イルカのねむり方 ありの行列(10)	指導目標	◎文章全体の構成「はじめ・中・おわり」を把握し、「段落」について知り、それぞれの段落の内容をとらえることができる。 ○感想文の書き方を知り、書いた感想を読み合っ、同じところや違うところを見つけて話し合うことができる。	言語活動	■報告の文章を読み、感想をまとめる。		<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。</td> <td rowspan="10">・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。</td> </tr> <tr> <td>2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。</td> </tr> <tr> <td>3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。</td> </tr> <tr> <td>5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)</td> </tr> <tr> <td>6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)</td> </tr> <tr> <td>7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。</td> </tr> <tr> <td>8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。</td> </tr> <tr> <td>10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。	・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。	2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。	3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。	4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。	5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)	6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)	7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。	8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。	9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。	10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。		(関) 動物の生態についての研究・解明を扱った文章であることに興味をもち、進んで読もうとしている。 (読) ・「段落」や文章全体の構成を理解している。 ・「答え」にいたる過程や根拠を読み取っている。 ・文章を読んだ感想を交流し、とらえ方の違いに気付いている。 (書) 感想の書き方を知り、書いて交流している。 (言) 文章中に使われている接続語の働きを理解している。
単元名・教材名	読んで、かんそうをもとう・イルカのねむり方 ありの行列(10)																							
指導目標	◎文章全体の構成「はじめ・中・おわり」を把握し、「段落」について知り、それぞれの段落の内容をとらえることができる。 ○感想文の書き方を知り、書いた感想を読み合っ、同じところや違うところを見つけて話し合うことができる。																							
言語活動	■報告の文章を読み、感想をまとめる。																							
	<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。</td> <td rowspan="10">・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。</td> </tr> <tr> <td>2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。</td> </tr> <tr> <td>3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。</td> </tr> <tr> <td>5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)</td> </tr> <tr> <td>6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)</td> </tr> <tr> <td>7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。</td> </tr> <tr> <td>8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。</td> </tr> <tr> <td>9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。</td> </tr> <tr> <td>10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。	・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。	2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。	3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。	4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。	5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)	6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)	7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。	8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。		9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。	10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。									
学習活動	指導上の留意点																							
1 生活経験を想起し、生き物の不思議について話し合う。学習計画を立てる。	・理科や生活科などで生き物を観察した経験を想起させる。 ・「段落」が文章の構成単位であることや、段落の始めは一字空いていることを押さえ、段落番号を振る。 ・文章の組み立て(はじめ・中・おわり)に気付かせる。「問い」と「答え」があることを押さえる。 ・「イルカのねむり方」で学習した説明文の読み方をまとめ、掲示して「ありの行列」の読み取りに役立てる。 ・教科書P45の「たいせつ」を活用する。 ・内容のつながりが分かる接続語や指示語の役割、文末表現などに気を付けて、段落ごとに読み取ったことをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを発表したりする。P47「言葉」と関連付けて指導する。 ・教科書の挿絵と結び付けながら読み取る。 ・ありの行動か、ウイルソンの行動や考えか、明らかにしながら振り返らせる。 ・P46〈感想を書くとき、使ってみたい言葉や書き方〉を活用する。 ・教師が見本を書いて示すとよい。 ・友達と読み合い、自分との相違点、工夫している表現などを見つけて話し合う。																							
2 「イルカのねむり方」を読んで、「段落」について知る。																								
3 「イルカのねむり方」を読んで、説明文の構成要素について知り、簡単な感想を書く。																								
4 「ありの行列」を読んで、段落の数を調べ、文章の組み立て(はじめ・中・おわり)を意識して「問い」と「答え」を見付ける。																								
5 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(一つ目の実験)																								
6 「ありの行列」を読んで、「調べたこと」や「考えたこと」が、どの段落に、どのように書かれているかを探す。(二つ目の実験と研究)																								
7 P46を読んで、感想のまとめ方を知り、自分が引きつけられたことは何かを見付ける。																								
8 P46の二つの観点のどちらかを選び、「何が」「どのように」書かれていたから引きつけられたのかを考えさせて感想を書く。																								
9 書きたいことの中心のほかに感じたことや考えたことを書き加える。																								
10 友達と読み合っ自分と同じところや違うところを見付ける。																								
	(関) 動物の生態についての研究・解明を扱った文章であることに興味をもち、進んで読もうとしている。 (読) ・「段落」や文章全体の構成を理解している。 ・「答え」にいたる過程や根拠を読み取っている。 ・文章を読んだ感想を交流し、とらえ方の違いに気付いている。 (書) 感想の書き方を知り、書いて交流している。 (言) 文章中に使われている接続語の働きを理解している。																							
5月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>声に出して楽しもう・良寛 芭蕉など(1)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎知っている言葉を手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■音読したり暗唱したりする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。</td> <td>・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 五七調・七五調の調子を楽しみ、声に出して読もうとしている。 (言) 好きな短歌・俳句を選んで、五七調の語感やリズムに気を付けて音読している。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	声に出して楽しもう・良寛 芭蕉など(1)	指導目標	◎知っている言葉を手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。	言語活動	■音読したり暗唱したりする。		<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。</td> <td>・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。	・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。		(関) 五七調・七五調の調子を楽しみ、声に出して読もうとしている。 (言) 好きな短歌・俳句を選んで、五七調の語感やリズムに気を付けて音読している。									
単元名・教材名	声に出して楽しもう・良寛 芭蕉など(1)																							
指導目標	◎知っている言葉を手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。																							
言語活動	■音読したり暗唱したりする。																							
	<table border="1"> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td>1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。</td> <td>・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。</td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。	・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。																			
学習活動	指導上の留意点																							
1 言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら短歌や俳句を声に出して読む。気に入った短歌や俳句、「いろは歌」を繰り返し音読する。	・一音ずつ手を叩くなどしてリズムの取り方を身に付ける。難解な語句は意味を説明する。 ・音読して感じる雰囲気や想像したことを発表させる。																							
	(関) 五七調・七五調の調子を楽しみ、声に出して読もうとしている。 (言) 好きな短歌・俳句を選んで、五七調の語感やリズムに気を付けて音読している。																							

6月	単元名・教材名 漢字の広場②（2）				
	※以下、漢字の広場①（5月）に準ずる。				
6月	単元名・教材名 ほうこくする文章を書こう・気になる記号 符号など（1 2）				
	指導目標 ◎友達に報告する文章を書くために必要な事柄を調べ、示された構成に沿って段落を意識して文章を書くことができる。				
	言語活動 ■調べたことを報告する文章を書く。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 学習課題「記号について調べ、ほうこくする文章を書こう」を設定し、P52を参考にして学習計画を立てる。 2 P52・53の挿絵を参考にして調べてみたい記号を考え、カードの書き方を知る。 3 調べたことをカードに書く。 4 集めたカードを比べたり整理したりして、分かったことを組み立てカードにまとめる。 5 「西山さんが書いた、ほうこくする文章」を読み、報告文の書き方を知る。 6 7 組み立てカードに沿って、段落を分けて報告文の下書きをする。 8 9 下書きを読み直し、よりよい書き方に直す。友達とも読み合う。 10 清書する。 11 書いた報告文をクラスで読み合う。 12 意見や感想を伝え合う。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるマークを集めて報告し合ったり、マークを集めた本を用意したりして関心を高める。 ・P53の西山さんのカードを見て、調べたことを書くときに気を付けることに気付かせる。 ・安全面に気を付けて取材させる。複数のカード（5～6枚）を集めるように支援する。 ・P54の「同じところやにているところはどこか」等の観点で分類させる。P55の組み立て表をワークシートにする。 ・段落番号を打ち、構成を確かめる。 ・「練馬の子ら」を活用する ・P57「ほうこくする文章で、よく使う書き表し方」やP59「符号など」を参考にして、文末表現や表記の仕方を指導する。 ・調べ足りなかったことや分からないことを再度調べ、書き足す。 ・表紙をつけ、丁寧に製本するとよい。 ・P58の吹き出しを参考にして内容の独自性や表現のよさに着目させる。付箋などに書いて交換し合ってもよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 学習課題「記号について調べ、ほうこくする文章を書こう」を設定し、P52を参考にして学習計画を立てる。 2 P52・53の挿絵を参考にして調べてみたい記号を考え、カードの書き方を知る。 3 調べたことをカードに書く。 4 集めたカードを比べたり整理したりして、分かったことを組み立てカードにまとめる。 5 「西山さんが書いた、ほうこくする文章」を読み、報告文の書き方を知る。 6 7 組み立てカードに沿って、段落を分けて報告文の下書きをする。 8 9 下書きを読み直し、よりよい書き方に直す。友達とも読み合う。 10 清書する。 11 書いた報告文をクラスで読み合う。 12 意見や感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるマークを集めて報告し合ったり、マークを集めた本を用意したりして関心を高める。 ・P53の西山さんのカードを見て、調べたことを書くときに気を付けることに気付かせる。 ・安全面に気を付けて取材させる。複数のカード（5～6枚）を集めるように支援する。 ・P54の「同じところやにているところはどこか」等の観点で分類させる。P55の組み立て表をワークシートにする。 ・段落番号を打ち、構成を確かめる。 ・「練馬の子ら」を活用する ・P57「ほうこくする文章で、よく使う書き表し方」やP59「符号など」を参考にして、文末表現や表記の仕方を指導する。 ・調べ足りなかったことや分からないことを再度調べ、書き足す。 ・表紙をつけ、丁寧に製本するとよい。 ・P58の吹き出しを参考にして内容の独自性や表現のよさに着目させる。付箋などに書いて交換し合ってもよい。
学習活動	指導上の留意点				
1 学習課題「記号について調べ、ほうこくする文章を書こう」を設定し、P52を参考にして学習計画を立てる。 2 P52・53の挿絵を参考にして調べてみたい記号を考え、カードの書き方を知る。 3 調べたことをカードに書く。 4 集めたカードを比べたり整理したりして、分かったことを組み立てカードにまとめる。 5 「西山さんが書いた、ほうこくする文章」を読み、報告文の書き方を知る。 6 7 組み立てカードに沿って、段落を分けて報告文の下書きをする。 8 9 下書きを読み直し、よりよい書き方に直す。友達とも読み合う。 10 清書する。 11 書いた報告文をクラスで読み合う。 12 意見や感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるマークを集めて報告し合ったり、マークを集めた本を用意したりして関心を高める。 ・P53の西山さんのカードを見て、調べたことを書くときに気を付けることに気付かせる。 ・安全面に気を付けて取材させる。複数のカード（5～6枚）を集めるように支援する。 ・P54の「同じところやにているところはどこか」等の観点で分類させる。P55の組み立て表をワークシートにする。 ・段落番号を打ち、構成を確かめる。 ・「練馬の子ら」を活用する ・P57「ほうこくする文章で、よく使う書き表し方」やP59「符号など」を参考にして、文末表現や表記の仕方を指導する。 ・調べ足りなかったことや分からないことを再度調べ、書き足す。 ・表紙をつけ、丁寧に製本するとよい。 ・P58の吹き出しを参考にして内容の独自性や表現のよさに着目させる。付箋などに書いて交換し合ってもよい。 				
	(関) 身近な事柄から題材を探し、文章に書いて伝えようとしている。 (書) ・題材に関して適当な実例を集め、情報を分類している。 ・報告の型に沿って文章を書いている。 (言) 句読点などを適切に使って文を書いている。				
6月	単元名・教材名 聞いて楽しもう・ばけくらべ（1）				
	指導目標 ◎読み聞かせを聞き、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、場面の様子に想像を広げることができる。				
	言語活動 ■昔話の読み聞かせを聞いて楽しんだり想像を広げたりする。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 P60・61の絵を見て、どんな物語なのかを想像する。教師が読む「ばけくらべ」を聞いて、おもしろかったところを話し合う。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は楽しんで聞き、2回目は、気に入った台詞などをメモしながら聞くとよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 P60・61の絵を見て、どんな物語なのかを想像する。教師が読む「ばけくらべ」を聞いて、おもしろかったところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は楽しんで聞き、2回目は、気に入った台詞などをメモしながら聞くとよい。
学習活動	指導上の留意点				
1 P60・61の絵を見て、どんな物語なのかを想像する。教師が読む「ばけくらべ」を聞いて、おもしろかったところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は楽しんで聞き、2回目は、気に入った台詞などをメモしながら聞くとよい。 				
	(関) 場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しんでいる。 (読) 読み聞かせを聞いて、場面の移り変わりをとらえている。 (言) 知っている語句の量を増やしている。				
6月	単元名・教材名 夏の楽しみ（1）				
	指導目標 ◎夏の行事に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。				
	言語活動 ■願い事を短冊に書く。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 夏から連想する言葉を交流したり、教科書を見ながら探したりして、気に入った言葉を選ぶ。 ・七夕の願い事を考え短冊に書く。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕や夏休みから思い浮かぶ事柄や体験などを発表し合う。夏の風物詩を絵や写真で紹介し、言葉と結び付ける。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 夏から連想する言葉を交流したり、教科書を見ながら探したりして、気に入った言葉を選ぶ。 ・七夕の願い事を考え短冊に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕や夏休みから思い浮かぶ事柄や体験などを発表し合う。夏の風物詩を絵や写真で紹介し、言葉と結び付ける。
学習活動	指導上の留意点				
1 夏から連想する言葉を交流したり、教科書を見ながら探したりして、気に入った言葉を選ぶ。 ・七夕の願い事を考え短冊に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕や夏休みから思い浮かぶ事柄や体験などを発表し合う。夏の風物詩を絵や写真で紹介し、言葉と結び付ける。 				
	(関) 夏の行事にかかわる語句を思い浮かべ、交流したりノートに書いたりしようとしている。 (書) 文章の間違えを直したり、よりよい表現に書き直したりしている。 (言) 夏の行事にかかわる言葉を連想し、知っている語句を増やしている。				
6月 7月	単元名・教材名 読んで考えたことを発表しよう・海をかつとばせ（8）				
	指導目標 ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。				
	言語活動 ■読んで考えたことを発表する。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点		
学習活動	指導上の留意点				

	<p>1 「海をかつとばせ」を読んで、「ワタル」と自分の似ているところや違うところを発表する。</p> <p>2 学習計画を立てる。 ・「同じくらいの年の子どもが出てくる本」を探して、並行読書する。</p> <p>3～4 「ワタル」がどんな人物であるかを自分と比べながら読み、考えたことを発表する。</p> <p>5～7 「この日の出来事を日記に書く」か「手紙を書く」のどちらかを選んで、書いたものを友達と読み合う。</p> <p>8 「海をかつとばせ」や読んできた本の中から自分が気に入っている場面を選び、その場面の出来事と感じたことを発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 導入で今自分ががんばって取り組んでいることを話し合うとよい。 P80・81を読み、「読書しろく」のつけ方を知らせる。 読書コーナーを教室内に設ける。 P77を参考にして5つの場面ごとに行動や会話、気持ちをノートにまとめさせる。 人物の性格や行動についての感想（共感・反発・疑問）を盛り込むようにさせる。 「ぼくならこうする」といった自分の考えや判断を入れるように指導する。 友達との感じ方の違いに気付かせる。
	<p>(関) 登場人物と自分を比べながら読もうとしている。</p> <p>(読) 会話や心情表現、行動を表す文・語句に着目し、それらから人物の気持ちや人柄が分かることを理解して読んでいる。</p> <p>(言) 文章から様子を表す言葉を見付け、それらの言葉を使って短文を作っている。</p>	
7月	<p>単元名・教材名 漢字の広場③ (2)</p> <p>※以下、漢字の広場① (5月) に準ずる。</p>	
7月	<p>単元名・教材名 用件や気持ちが伝わるように書こう・手紙を書こう (4)</p> <p>指導目標 ◎用件を明確にし、目的や必要に応じて書き方を工夫して手紙を書くことができる。</p> <p>言語活動 ■用件や気持ちが伝わるように手紙を書く。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 学習課題「お世話になった人に手紙でお礼しよう」を設定する。</p> <p>2～3 「手紙の型」に則りながら手紙を書く。</p> <p>4 宛名の書き方などを知り、封筒に宛名を書いて手紙を送る。(渡す。)</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生になってからお世話になっている人を考えさせる。 教科書の例示や文集「練馬の子ら」を活用する。 各自、手紙を持ち寄ったり、教師がもっている手紙を例として示してもよい。
	<p>(関) 具体的な内容を盛り込みながら、きまりを守って手紙を書こうとしている。</p> <p>(書) 手紙を書くときに必要な事柄を理解して書いている。</p> <p>(言) 思ったことや考えたことを手紙に書いている。</p>	
7月	<p>単元名・教材名 本は友だち・本は友だち いろはにほへと (6)</p> <p>指導目標 ◎目的に応じ、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。 ◎相手や目的に応じて理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>言語活動 ■紹介したい本を取り上げて説明する。■図表や絵、写真などを取り上げて話す。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 学習課題「おすすめの本を見つけてしょうかうしよう」を設定する。</p> <p>2 「本をえらぼう」を読んで、読んでみたい本を探して読む。</p> <p>3～4 本の紹介の仕方を考え、発表する内容をまとめる。</p> <p>5～6 本を紹介し合ったり、感想を交流したりする。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の図書館と連携し、見学を実施できるようにするとよい。 題名、著者、目次、図表、装丁などに着目させる。 音声CDを使って、紹介のポイントをつかませる。 「いろはにほへと」で、おもしろいところをまとめるアイデアを話し合うとよい。
	<p>(関) 自分の好きな本を選んで紹介しようとしている。</p> <p>(読) 目的に応じて本を選んで読んでいる。</p> <p>(話・聞) 紹介に必要な要素を知り、関心を抱いた理由を述べながら本を紹介している。</p> <p>(言) 言葉には思ったことや考えたことを表す働きがあることを意識している。</p>	
8月 9月	<p>単元名・教材名 詩を楽しもう・わたしと小鳥とすずと みいつけた (2)</p> <p>指導目標 ◎二つの詩を比べながら読み、詩の組み立てや内容がよく分かるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して音読することができる。</p> <p>言語活動 ■詩を音読する。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 「わたしと小鳥とすず」と「みいつけた」を音読し、似ているところや違うところを話し合う。</p> <p>2 二つの詩のうち、好きなほうを選んで音読発表する。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 連の相互関係に着目させる。 心に残った言葉や表現に着目して選ばせる。
	<p>(関) 詩を楽しんで音読しようとしている。</p> <p>(読) 詩のそれぞれの連の内容とその関係を理解し、音読している。</p> <p>(言) 表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。</p>	
9月	<p>単元名・教材名 話し合って決めよう・わたしたちの学校行事 インタビュー (14)</p> <p>指導目標 ◎互いの考えの共通点や相違点を考えながら、説明する内容や方法について話し合うことができる。 ◎司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。 ◎準備をした上で、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いでインタビューすることができる。</p> <p>言語活動 ■学校行事を紹介する。グループで話し合って考えをまとめる。</p>	
9	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

月	<p>1 自分たちの学校の行事の楽しさを誰に紹介したいかを話し合い、学習課題「わたしたちの学校行事をしようかいする交流会を開こう」を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 紹介する相手と目的を確かめ、交流会で紹介する話題を決めて、グループに分かれる。</p> <p>3 相手、目的、場所に応じて気を付けることを考え、クラス全体で確かめる。</p> <p>4 5 自分たちのグループの話題についてどんなふうに説明するか自分の考えをもつ。山野さんのグループの話し合いを音声CDで聞き、上手な話し合いの仕方を整理する。</p> <p>6 グループごとに自分たちの発表方法について話し合う。</p> <p>7 誰がどの部分を担当して説明するのかを決める。発表する内容について調べたりインタビューしたりする方法を知る。</p> <p>8 発表する内容について調べたりインタビューしたりする。</p> <p>9 10 担当ごとに発表メモを作成する。</p> <p>11 12 発表メモを基にして発表練習をする。</p> <p>13 グループで協力してリハーサルをする。 (交流会の本番を行う。)</p> <p>14 学習の振り返りをする。</p> <p>(関) 進んで話し合いや発表を行おうとしている。 (話・聞) ・意見と理由を伝え合い、互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合っている。 ・司会や提案などの役割を話ながら、進行に沿って話し合っている。 (言) 意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、理解して使っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の楽しさを自分たちで十分に出し合う。 ・相手意識、目的意識をしっかりともたせる。 ・P108を参考にして計画を立てる。 ・話題を決める際には、「すること」「相手」「目的」「日時」「場所」「プログラム」を具体的に設定する。 ・相手、場所などの違いによる言葉や声の大きさの違いなどに気付かせる。 ・ノートなどに自分の考えを箇条書きさせる。 ・音声CDを使用する。教科書P110・111をインタビューするときに気を付けることを理解させる。教科書を見て、司会が気を付けることや参加している人が気を付けることを整理する。 ・前時に学習したポイントを確認させてから話し合いに入る。グループの状況に応じて、教師が司会役やよい発言者として参加する。 ・教科書P112「山野さんのグループ」の構成表を参考にし、教科書P115「インタビュー」と音声CDを活用し、教師や友達を相手に練習するとよい。 ・事前にインタビューの依頼を教師がしておく。 ・教科書P112「西山さんの発表メモ」を参考にし、音声CDを使い、助言し合う様子をつかませる。 ・ビデオで撮影し、振り返らせるとよい。 ・本番は総合的な学習の時間や特別活動を想定する。 ・教科書P114のチェックポイントを活用する。
9月	<p>単元名・教材名 へんとつくり (2)</p> <p>指導目標 ◎漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつことができる。</p> <p>言語活動 ■偏と旁に着目して漢字を集め、分類する。</p> <p>学習活動</p> <p>1 漢字の中には同じ「へん」をもつものがあることに気付き、同じ「へん」の漢字を集める。</p> <p>2 「へん」と「つくり」に注目して、漢字を分類する。</p> <p>(関) 「へん」や「つくり」に着目しながら意欲的に漢字を分類しようとしている。 (言) 漢字の部分に着目し、「へん」や「つくり」など漢字の構成について初歩的なことを理解している。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へん・つくり」の名称と意味、「へん」や「つくり」が大まかな意味を表すことを理解させる。 ・教科書P135～の「漢字学習のすすめ」を活用する。
9月	<p>単元名・教材名 秋の楽しみ (1)</p> <p>指導目標 ◎秋の行事に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。</p> <p>言語活動 ■秋にかかわる言葉集めをする。</p> <p>学習活動</p> <p>1 教科書や給食の献立などから秋らしい食べ物や料理を探したり、秋の言葉を集めたりする。「〇〇の秋」にあてはまる言葉を考える。</p> <p>(関) 身の回りから進んで言葉を見付けようとしている。 (言) 秋らしい言葉を思い浮かべ、知っている語句を交流している。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の地域学習や食育との連携を図る。 ・秋の風景を写した写真やイラスト、絵画などを集め、拡大して黒板に掲示する。
10月	<p>単元名・教材名 ローマ字 (5)</p> <p>指導目標 ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読んだり、書いたりする。</p> <p>言語活動 ■ローマ字を使って名刺作りをする。</p> <p>学習活動</p> <p>1～3 身の回りのローマ字で書かれているものから特徴を知り、ローマ字の表記の仕方を理解する。</p> <p>4～5 ローマ字の名刺を作って、友達と交換する。</p> <p>(関) ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。 (言) 簡単な単語についてローマ字を読んだり、ローマ字で書いたりしている。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字表を使い、五十音のアルファベットの配列を理解させる。 ・コンピュータを使ってもよい。P134を参照する。
<下巻>		
10	<p>単元名・教材名 物語の感想をまとめよう・ちいちゃんのかげおくり (1 2)</p>	

月	指導目標 ◎場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。 ◎細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。 言語活動 ■物語を読んで感想をまとめる。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 「ちいちゃんのかげおくり」という題名から内容を予想する。範読を聞き、あらすじをつかむ。 2 初発の感想を交流し、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3 新出漢字の確認、言葉の意味調べをする。 4 「1」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 5 「2」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 6 「3」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 7 「4・5」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 8 前時までの感想を振り返り、心を打たれたことを整理する。 9 感想文の書き方を知る。 10 一番心を打たれた場面を中心に感想文を書く。 11 友達と感想を交流する。 12 自分の感じたことが伝わるように音読をする。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「どの場面で心を打たれたか」という観点で感想を交流する。 ・「ちいちゃん様子や気持ちの移り変わりを読み取って、感想文を書こう」などの課題にまとめる。 ・辞書を使用する。戦争にかかわる語句を説明する。 ・教科書P19を参考にして、場面の出来事や行動を表にまとめて整理するなど、ノートを活用した指導をする。 ・P22「言葉」を活用しながら、会話文の前後の動詞や形容詞、「見る」に関係のある言葉、形容詞に着目させて想像を膨らませる。 ・「1」と「4」のかげおくりを比べさせる。 ・短い感想を各時間ごとに書かせ、交流しておく。 ・ノートを振り返り、感想の変化に気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P21の「書きだしのれい」や「むすびのれい」を読んで「はじめ」と「おわり」の書き方を工夫させる。 ・考えの違いや書き方に気付かせる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 「ちいちゃんのかげおくり」という題名から内容を予想する。範読を聞き、あらすじをつかむ。 2 初発の感想を交流し、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3 新出漢字の確認、言葉の意味調べをする。 4 「1」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 5 「2」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 6 「3」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 7 「4・5」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 8 前時までの感想を振り返り、心を打たれたことを整理する。 9 感想文の書き方を知る。 10 一番心を打たれた場面を中心に感想文を書く。 11 友達と感想を交流する。 12 自分の感じたことが伝わるように音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どの場面で心を打たれたか」という観点で感想を交流する。 ・「ちいちゃん様子や気持ちの移り変わりを読み取って、感想文を書こう」などの課題にまとめる。 ・辞書を使用する。戦争にかかわる語句を説明する。 ・教科書P19を参考にして、場面の出来事や行動を表にまとめて整理するなど、ノートを活用した指導をする。 ・P22「言葉」を活用しながら、会話文の前後の動詞や形容詞、「見る」に関係のある言葉、形容詞に着目させて想像を膨らませる。 ・「1」と「4」のかげおくりを比べさせる。 ・短い感想を各時間ごとに書かせ、交流しておく。 ・ノートを振り返り、感想の変化に気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P21の「書きだしのれい」や「むすびのれい」を読んで「はじめ」と「おわり」の書き方を工夫させる。 ・考えの違いや書き方に気付かせる。 	
学習活動	指導上の留意点					
1 「ちいちゃんのかげおくり」という題名から内容を予想する。範読を聞き、あらすじをつかむ。 2 初発の感想を交流し、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3 新出漢字の確認、言葉の意味調べをする。 4 「1」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 5 「2」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 6 「3」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 7 「4・5」場面のちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、感想をもつ。 8 前時までの感想を振り返り、心を打たれたことを整理する。 9 感想文の書き方を知る。 10 一番心を打たれた場面を中心に感想文を書く。 11 友達と感想を交流する。 12 自分の感じたことが伝わるように音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どの場面で心を打たれたか」という観点で感想を交流する。 ・「ちいちゃん様子や気持ちの移り変わりを読み取って、感想文を書こう」などの課題にまとめる。 ・辞書を使用する。戦争にかかわる語句を説明する。 ・教科書P19を参考にして、場面の出来事や行動を表にまとめて整理するなど、ノートを活用した指導をする。 ・P22「言葉」を活用しながら、会話文の前後の動詞や形容詞、「見る」に関係のある言葉、形容詞に着目させて想像を膨らませる。 ・「1」と「4」のかげおくりを比べさせる。 ・短い感想を各時間ごとに書かせ、交流しておく。 ・ノートを振り返り、感想の変化に気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P21の「書きだしのれい」や「むすびのれい」を読んで「はじめ」と「おわり」の書き方を工夫させる。 ・考えの違いや書き方に気付かせる。 					
	(関) 言葉や表現に着目して読み、進んで感想を書いている。 (読) 場面の移り変わりに注意し、場面の様子を想像しながら読んでいる。 (書) 人物や出来事について感じたことを本文を引用しながらまとめている。 (言) 文章中に使われている表現に着目し、表現するための語句を増やしている。					
10月	単元名・教材名 漢字の広場④(2) ※以下、漢字の広場①(5月)に準ずる。					
10月	単元名・教材名 修飾語(2)					
	指導目標 ◎修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつことができる。 言語活動 ■修飾語を付け加えて文作りをする。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 主語と述語のそろった文に、「修飾語」を入れると分かりやすくなることを理解する。 2 いろいろな文から主語、述語、修飾語を見つけたり、修飾語を足していくゲームをしたりする。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくする言葉を「修飾語」ということを説明する。 ・グループに分かれて、「修飾語リレーゲーム」などをするとよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 主語と述語のそろった文に、「修飾語」を入れると分かりやすくなることを理解する。 2 いろいろな文から主語、述語、修飾語を見つけたり、修飾語を足していくゲームをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくする言葉を「修飾語」ということを説明する。 ・グループに分かれて、「修飾語リレーゲーム」などをするとよい。 	
学習活動	指導上の留意点					
1 主語と述語のそろった文に、「修飾語」を入れると分かりやすくなることを理解する。 2 いろいろな文から主語、述語、修飾語を見つけたり、修飾語を足していくゲームをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくする言葉を「修飾語」ということを説明する。 ・グループに分かれて、「修飾語リレーゲーム」などをするとよい。 					
	(関) 修飾語に関心をもち、進んで探そうとしている。 (言) 言葉が文中で役割もっていることや修飾語の働きを理解している。					
11月	単元名・教材名 せつめいのしかたを考えよう・すがたをかえる大豆(7)					
	指導目標 ◎中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 言語活動 ■筆者の説明の仕方を調べる。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 料理の食材はどんなものが多いかを調べ、交流する。 2 「すがたをかえる大豆」を読み、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3～4 「はじめ」「中」「おわり」の説明されていることを整理しながら文章全体の組み立て方や、段落ごとの書き方に注意して読む。 5 分かりやすい文の書き方について考えながら読む。 6～7 食べ物について書かれた本を読んで、分かったことやおもしろかったことを友達と交流する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニューなどを活用する。 ・「分かりやすいせつめいのしかたを考えよう」という課題設定にする。 ・「はじめ」の部分に入る「問い」を考える。 ・段落の中心になる文を確かめながら、大豆が利用されている具体例をノートに整理する。 ・写真の利用、接続詞や文末表現に気付かせる。 ・もっと知りたくなったこと、他にも知りたいことを中心に発表させる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 料理の食材はどんなものが多いかを調べ、交流する。 2 「すがたをかえる大豆」を読み、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3～4 「はじめ」「中」「おわり」の説明されていることを整理しながら文章全体の組み立て方や、段落ごとの書き方に注意して読む。 5 分かりやすい文の書き方について考えながら読む。 6～7 食べ物について書かれた本を読んで、分かったことやおもしろかったことを友達と交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニューなどを活用する。 ・「分かりやすいせつめいのしかたを考えよう」という課題設定にする。 ・「はじめ」の部分に入る「問い」を考える。 ・段落の中心になる文を確かめながら、大豆が利用されている具体例をノートに整理する。 ・写真の利用、接続詞や文末表現に気付かせる。 ・もっと知りたくなったこと、他にも知りたいことを中心に発表させる。 	
学習活動	指導上の留意点					
1 料理の食材はどんなものが多いかを調べ、交流する。 2 「すがたをかえる大豆」を読み、学習課題を設定して学習計画を立てる。 3～4 「はじめ」「中」「おわり」の説明されていることを整理しながら文章全体の組み立て方や、段落ごとの書き方に注意して読む。 5 分かりやすい文の書き方について考えながら読む。 6～7 食べ物について書かれた本を読んで、分かったことやおもしろかったことを友達と交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニューなどを活用する。 ・「分かりやすいせつめいのしかたを考えよう」という課題設定にする。 ・「はじめ」の部分に入る「問い」を考える。 ・段落の中心になる文を確かめながら、大豆が利用されている具体例をノートに整理する。 ・写真の利用、接続詞や文末表現に気付かせる。 ・もっと知りたくなったこと、他にも知りたいことを中心に発表させる。 					
	(関) 文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。 (読) 「はじめ・中・おわり」の構成に注意し、「中」に書かれた具体例を整理しながら読んでいる。 (言) 文章中の言葉や表現に注目し、辞書を使って調べている。					
11月	単元名・教材名 れいをあげてせつめいしよう・食べ物のひみつを教えます(6)					
	指導目標 ◎「はじめ・中・おわり」の構成を意識し、「中」の例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。 言語活動 ■調べて説明する。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点			
学習活動	指導上の留意点					

11月	1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2～3 米、麦、とうもろこし、さとうきび、牛乳、魚の中から食材を選び、どのように姿を変えられて食べられているかを調べる。 4～6 「はじめ・中・おわり」の構成になるように、調べたことの例を示しながら書く。	<ul style="list-style-type: none"> 「調べたことを、れいをあげてせつめいする文章を書こう」などの具体的な学習課題を設定する。 教科書P35を参考にする。 図書館の本などを利用して取材する。 P36・37の例、文集「練馬の子ら」を参考にする。 作品をまとめ、説明するポイントを話し合う。
	(関) 食べ物について関心をもち、課題に合わせて調べたり書いたりしようとしている。 (書) 「中」の部分で、内容のまとまりごとに、段落に分け、文章を構成している。 (言) 接続詞を適切に使って文を書いている。	
11月	単元名・教材名 声に出して読もう・一茶・百人一首など(1)	
	指導目標 ◎情景を想像したり、日本語独特のリズムを感じたりしながら短歌や俳句を音読し、文語調に親しむ。 言語活動 ■音読したり暗唱したりする。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返し音読する。	<ul style="list-style-type: none"> P130～135や上巻P48～50を参照する。 知っている言葉を手がかりにして情景を想像する。
(関) 五七調の調子を楽しみ、リズムをつかんで声に出して読もうとしている。 (言) 好きな短歌・俳句を選んで、五七調の語感やリズムに気を付けて音読している。		
11月	単元名・教材名 漢字の意味(2)	
	指導目標 ◎漢字には意味があることを理解し、前後の文脈から漢字の意味を考えたり、短文を作ったりする。 言語活動 ■意味を考えながら短文作りをする。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 同じ発音でも、意味が違えば使われる感じも違うことを知り、例題で確かめる。 2 教科書の□(空欄)に入る漢字を考え、漢字を正しく使い分けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ発音でも、意味が違う漢字を見付けさせる。 教師が例題をいくつか用意するとよい。
(関) 進んで漢字が表す意味を考えようとしている。 (言) 同じ発音でも意味が違う漢字があることを理解し、意味を考えて漢字を書いている。		
11月 12月	単元名・教材名 民話や物語の組み立てを考えよう・三年とうげ(6)	
	指導目標 ◎物語の組み立てをとらえ、登場人物の気持ちの変化や情景を想像することができる。 言語活動 ■物語を読み、感想を伝え合う。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2～4 物語がどのように組み立てられているかを考えながら「三年とうげ」を読む。 5～6 同じような組み立ての民話・昔話を探して読む。	<ul style="list-style-type: none"> 今まで読んだり聞いたりした民話・昔話の共通点を話し合う。 ①はじまり②事件が起きる③事件が変化する④むすびに分ける。 図書館などの本を利用する。
(関) 物語の組み立てに興味をもち、進んで民話や昔話を読んでいる。 (読) 物語がどのように組み立てられているかを考え、整理しながら読んでいる。 (言) 文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。		
12月	単元名・教材名 組み立てを考えて書こう・物語を書こう(7)	
	指導目標 ◎民話や昔話の組み立てを利用し、場面の様子や人物の気持ちを書いたり会話文を入れたりして書く。 言語活動 ■物語を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習課題「組み立てを考えながら、物語を書こう」を設定し、学習計画を立てる。 2 時、場所、登場人物などの設定を決めて、物語の構成を考える。 3～6 教科書を参考に、「三年とうげ」で学習した四つの場面に合わせてメモに整理して、物語を作る。 7 できあがった物語を交流し、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物語の組み立てや登場人物の魅力などについて話し合っ意欲を高める。 教科書P56のメモを参考にさせる。 友達と交流し、発想を広げさせる。 文集「練馬の子ら」の作品を参考にさせる。 できた作品を読み返し、文字の間違い、記号の使い方、主語と述語、文のつながりなどを推敲させる。 表現のよさを見付けて伝え合う。
(関) 想像を広げたり、友達と交流したりしながら楽しんで物語を書こうとしている。 (書) ・場面の移り変わりをとらえた物語の組み立てを考えている。 ・表現を工夫して書いている。 (言) 句読点を適切に打ち、段落の始めや会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書いている。		
12月	単元名・教材名 漢字の広場⑤(2)	
※以下、漢字の広場①(5月)に準ずる。		
12月	単元名・教材名 言葉について考えよう・にた言葉の意味、反対の言葉の意味(6)	
	指導目標 ◎類義語や対義語の使い方を考えながら、自分の考えや気持ちを伝え理解するために必要な語句を増やし、また、共通してある特徴で類別があることを理解することができる。 言語活動 ■調べた言葉を使って短文作りをする。	

12月	学習活動		指導上の留意点
	<p>1～4 教材文を読み、国語辞典を使って意味の違いを調べながら「似た意味の言葉」や「反対の意味の言葉」の短文を作って比べる。</p> <p>5～6 教材文を読んで、分類のしかたを理解して、カードにした言葉を分類する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「似た意味の言葉」では、同じように使える場合と使えない場合があることを理解する。 ・調べた言葉でカードを作り、組み合わせゲームをする。 ・教科書P66・67の囲みの言葉を分類して発表し、友達との観点の違いを見付ける。
	<p>(関) 言葉の意味による分け方に興味をもち、いろいろな言葉を分類しようとしている。</p> <p>(書) 言葉に着目して、文をよりよい表現に書き直している。</p> <p>(言) 似た意味の言葉や反対の意味の言葉があることや、その特徴を理解している。</p>		
12月	単元名・教材名	冬の楽しみ(1)	
	指導目標	◎表現したり理解したりするために必要な語句を増やすことができる。	
	言語活動	■短歌や俳句を作る。冬の便りを書く。	
1月	学習活動		指導上の留意点
	<p>1 年末や年始の行事を思い出して冬らしい言葉を出し合い冬の便りを書く。</p>		・冬らしい言葉を使い、短歌や俳句を作って添えてもよい。
	<p>(関) 冬の行事にかかわる言葉に興味をもち、身の回りから探そうとしている。</p> <p>(書) 身の回りから題材を決め、手紙やはがきを書いている。</p> <p>(言) 冬らしい言葉を思い浮かべて、知っている言葉を出し合って理解している。</p>		
1月	単元名・教材名	詩を楽しもう・はしる しるしる じゃがいも 雪(4)	
	指導目標	◎お気に入りの詩集を作るため、観点を決めて他の詩集を読むことができる。	
	言語活動	■詩集を読んで集め、詩集を作る。	
	学習活動		指導上の留意点
	<p>1 「はしるはしる」「じゃがいも」「雪」の詩を音読し、どんなところがおもしろいか発表する。</p> <p>2～4 できるだけたくさんの詩集を読んで、お気に入りの詩を集めた詩集をつくり、友達と交流する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や繰り返しの表現に気付かせる。 ・どんな詩集にしたいかテーマを決めてから詩を探し、順番、表紙や目次などを工夫させる。 ・文集「練馬の子ら」に載っている詩も参考にする。
<p>(関) 楽しんで詩を読み、集めている。</p> <p>(読) 詩の比喩用言や繰り返しの表現に気付いて音読している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもって詩を集めている。 <p>(言) 言葉によって思いや考えが表現されていることを理解している。</p>			
1月	単元名・教材名	かるたについて知ろう・かるた(8)	
	指導目標	◎それぞれの段落で中心となる語や文をとらえ、引用したり、小見出しを付けて整理したりすることができる。	
	言語活動	■段落ごとに小見出しを付ける。得た知識を生かしてかるたの文を作る。	
	学習活動		指導上の留意点
	<p>1～2 「かるた」を読んで、意見を発表し合い、学習課題「かるたについてくわしく知ろう」を設定する。</p> <p>3～5 大事だと思う言葉や文を書き出して、段落ごとに小見出しをつける。</p> <p>6 かるたについて分かったことやもっと知りたいことを書きだし、実物を見たり、本を読んだりして知ったことを交流する。</p> <p>7～8 「3年〇組 国語かるた」をつくる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目標を「国語かるたを作ろう」とし、意欲をもたせる。 ・「かるた」の文の中から、こそあど言葉を探しながら読んで、どの文の言葉を指しているか確かめさせる。 ・家の人に聞いたりするなど取材活動を活発にする。かるたに関する資料や実物を児童に呼びかけて集める。 ・これまでに学習したことを材料にして文を作る。
<p>(関) かるたについて関心をもち、進んで文章を読んだり、人に聞いたりしている。</p> <p>(読) 小見出しを立てて段落の内容を整理している。</p> <p>(書) これまでの学習から題材を選び、かるたの文を作っている。</p> <p>(言) 指示語について理解している。</p>			
1月	単元名・教材名	すじ道を立てて話そう・しりょうからわかったことを発表しよう(6)	
	指導目標	◎分かったこと、考えたことについて、筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すことができる。	
	言語活動	■図表や写真に基づき、話したり聞いたりする。	
	学習活動		指導上の留意点
<p>1 教科書P83の二つのグラフを比べて分かったことをノートに書き出し、2分間で話して説明するにはどうすればよいかを考える。学習課題「しりょうから分かったことを発表しよう」を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2～3 P84・85の発表の例を音声CDで聞いて、よかった点や工夫している点について話し合う。</p> <p>4～6 教科書P86の2枚の写真を比べて分かったことをノートに書き出し、2分間で発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのスピーチなどの経験を基にして、「聞いている人に分かりやすい発表」について考える。 ・二つのグラフを拡大して黒板に貼って、全員で話し合えるようにする。 ・音声を聞きながら、南さんがどういう動きをしていたかを想像し、実際に動いてみる。 ・給食、教室、児童の様子など、観点を示し、資料から読み取れることをできるだけたくさん出させる。 	

1月	(関) 資料を読み取って発表する活動に興味をもち、進んで話し手や聞き手になって参加しようとしている。 (話・聞) 内容のまとまりを意識したり、大事な言葉や部分を強調したりして話している。 (言) 指示語の使い方に注意して話している。	
2月	単元名・教材名	漢字の広場⑥ (2)
	※以下、漢字の広場① (5月) に準ずる。	
2月	単元名・教材名	ほうこく書を書こう・本で調べて、ほうこくしよう 自分の言葉でまとめる (16)
	指導目標 ◎生活の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本を読んで調べることができる。 ○書こうとすることを中心を明確にし、構成を考え、まとまりに分けて書くことができる。	
	言語活動 ■文献調査をし、報告文を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
	1～2 生活の中でふしぎに思った出来事や事柄を話し合い、調べることを決める。学習課題「ふしぎに思ったことを本で調べ、ほうこくしよう」を設定し、学習計画を立てる。 3～4 索引や目次、背表紙から探したい言葉を検索する方法など、事典や図鑑の使い方を理解する。 5～8 調べたいことを事典や図鑑、科学読み物などの本から探して読み、報告書に書く材料を収集する。 9～13 山野さんの〈ほうこく書の型〉を参考にして構成を考え、調べたことを整理する。 14～16 整理したものを基に、下書きをし、友達と読み合って意見交換した上で清書する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元前に「なんでもぎもんコーナー」を設け、導入しておく。 ・自分で調べたいことが見付からない場合には教科書P89から選ばせる。 ・カードに書かれた言葉を早く調べるゲームをして、検索の練習をする。 ・図書室や地域の図書館と連携し、児童が必要な本を集める。図書館司書がいる場合には相談させる。 ・「だいめい」などの見出しを立てる。問いに対する答えが抜け落ちないようにさせる。「練馬の子ら」の活用。 ・本から引用するときは出典元などを明記する。 ・難しい言葉は言い換えるか、脚注を付ける。
	(関) 調べる事柄を決め、進んで本を探して調べようとしている。 (書) 報告書の型に沿って、まとまりごとに分けて書き、問いに対する答えを記述している。 (言) 報告書を書くために必要な言葉を辞書で調べている。	
3月	単元名・教材名	カンジーはかせの音訓遊び歌 (2)
	指導目標 ◎3年生で学習した漢字を読んだり、書いたりすることができる。	
	言語活動 ■3年生で学んだ漢字を活用して音訓遊び歌を作る。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 「カンジーはかせの音訓遊び歌」を読み、音と訓を正しく使い分けた歌を作る。 2 教科書に例示された音と訓の歌や自分で考えた音と訓の歌をカードにし、友達と交流しながら楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとの活動にするとよい。 ・教師も多数の例示をつくり、活動が遅れている児童に真似をさせたり参考にさせたりする。
	(関) 送り仮名を意識しながら、漢字の音と訓を使った遊び歌を作ろうとしている。 (言) 3年生に配当されている漢字を送り仮名を注意して正しく書いている。	
3月	単元名・教材名	物語を読んで、しょうかいしよう・モチモチの木 (15)
	指導目標 ◎場面ごとの登場人物の行動や会話から、人物の気持ちや性格をとらえて読むことができる。 ◎紹介文を発表し合い、意見や感想を伝え合うことができる。	
	言語活動 ■物語を読んで紹介する。	
	学習活動	指導上の留意点
	1～2 「モチモチの木」を読んで、どんな人物が出てくるかを整理する。学習課題「齋藤隆介さんの作品を読んで、物語を紹介しよう」を設定し、学習計画を立てる。 3～7 「豆太」や「じさま」の会話や行動から性格を押さえ、登場人物の気持ちや人柄をとらえながら読む。 8～9 「豆太」や「じさま」の人柄について感じたことを交流し、「豆太らしさ」や「じさまらしさ」がよく分かる部分を音読する。 10～15 齋藤隆介作品の中から、どれかを選んで読み、好きな登場人物を中心に物語の紹介文を書いて交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の見通しをもたせるために、P112にある齋藤隆介の作品を紹介し、興味をもたせる。 ・初めは教師が民話の語り口調で範読するとよい。 ・地の文の行動や表情などを表している言葉に着目させる。語り手の存在にも気付かせる。 ・そう思った理由や、根拠となった描写などを説明してから、音読を始める。 ・音読を聞いてどのように感じたかを発表させる。 ・P112の紹介文の例を参考にして、紹介文を書かせる。 ・紹介文をお互いに読み合い、読みたい本を決めて読む時間を確保する。
	(関) 登場人物に着目して同じ作者の作品を読むことを楽しんでいる。 (読) 会話や心情表現、行動を表す言葉に着目して、想像しながら読んでいる。 (書) 登場人物に対して思ったことを中心にした紹介文を書いている。 (言) 言葉に登場人物の心情が表れていることに気付く。	

第3学年書写 年間指導計画

- ア 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

月	単元名・教材名	時数	目標	主な学習活動と留意点
4月	・三年生から毛筆を使った学習が始まるよ ・用具をじゅんぴしよう	1	三年生で学習すること、毛筆用具の置き方や片付け方などを理解することができる。	①「三年生から毛筆を使った学習が始まるよ」を見て、思ったことを発表する。 ②毛筆用具の置き方、片付け方を知る。
	1筆となかよしになるう ・目指せ、点画名たんてい	毛筆 2～3	正しい姿勢や毛筆の持ち方を理解することができる。 点画に関心をもつことができる。	①正しい姿勢や筆記具の持ち方を知る。 ②筆圧を変えて太さの違う線を書き、毛筆の特性を知る。 ③巻頭シールの点画を貼って、漢字を完成させ、点画には様々な種類があることを知る。
5・6月	2ほ先の向きを知ろう ・横画 ・縦画	毛筆 5～6 硬筆 1	穂先の向きを理解して、横画を書くことができる。 穂先の向きを理解して、縦画を書くことができる。	①始筆・送筆・終筆の意味を知る。 ②横画の始筆・送筆・終筆の穂先の向きを確かめながら、手で横画を空書きする。 ③毛筆で「二」を書き、横画の穂先の向きを確かめる。 ④硬筆で「一、二、三」を書く。 ⑤横画の始筆・送筆・終筆の穂先の向きを確かめる。 ⑥毛筆で「十」を書き、縦画の穂先の向きを確かめる。 ⑦硬筆で「十、止、円」を書く。
7月	3力の入れ方を知ろう ・左はらい 右はらい ■ねがい事を書こう	毛筆 2 硬筆 1	毛筆への力の入れ方を理解して、左払い・右払いを書くことができる。	①左はらい、右払いを書くときの力の入れ方を理解し、力の入れ方を確かめながら払いを空書きする。 ②毛筆で「大」を書き、左右の払いの力の入れ方を確かめる。 ③硬筆で「大、友、谷」を書く。 ④願い事を短冊に丁寧に書き、笹竹に飾る。
9・10月	4ほ先の向きや力の入れ方を考えて書こう ・おれ ・そり、点 ・曲がり ◇へんにならない、「へん」の書き方 ◇わくわく☆漢字教室	毛筆 5～6 硬筆 1	穂先の向きと力の入れ方を理解して、折れ、はねを書くことができる。	①①～⑥を見て、折れ、はねを書くときの穂先の向きや力の入れ方を理解する。 ②毛筆で「月」を書き、折れやはねの穂先の向きや力の入れ方を確かめる。 ③硬筆で「月、両、島」を書く。 ④そりや点を書くときの穂先の向きや力の入れ方を理解する。 ⑤毛筆で「心」を書き、そりや点の穂先の向きや力の入れ方を確かめる。 ⑥硬筆で「心、風、代」を書く。 ⑦曲がりを書くときの穂先の向きや力の入れ方を理解し、折れ・そり・曲がり比べる。 ⑧毛筆で「光」を書き、曲がりの穂先の向きや力の入れ方を確かめる。 ⑨硬筆で「光、化、流」を書く。
11月	5文字の中心に気を付けて書こう ◇横書きの書き方 ◇かたかな研究室	毛筆 2～3 硬筆 1	文字の中心を理解して書くことができる。	①「木」を見て、文字の中心を見付ける。 ②毛筆で「火山」を書き、文字の中心を確かめる。 ③硬筆で「火山、集合」を書く。 ④二種類の横書きの書き方を確かめ「石の上にも三年」を書く。 ⑤筆使いや筆順に気を付けて片仮名を書く。
12・1月	6平がなのとくちょうを知ろう ・書きぞめ ■小筆で名前を書こう	毛筆 5～6	平仮名の筆使いを理解して書くことができる。	①漢字と平仮名の画を見て、筆使いの違いを知る。 ②毛筆で「にじ」を書き、平仮名の筆使いを確かめる。 ③硬筆で「ふじ、もち、たから」を書く。 ④巻末折り込みの書き初め「光るにじ」を毛筆で書く。 ⑤小筆の持ち方や扱い方、墨のすり方を知る。 ⑥小筆で自分の名前を書く。
2・3月	7学習したことを生かして書こう ■音訓遊びかるたを作ろう	毛筆 4 硬筆 1	三年生で学習したことを生かして書くことができる。	①三年生で学んだことを話し合い、点画の名称などを確かめる。 ②「水玉」を書くときのめあてを決め、毛筆で「水玉」を書く。 ③硬筆で「水玉、投手、新しい教室」を書く。 ④筆使いや文字の中心に気を付けて、音訓かるたを書く。

(5) 第4学年 年間指導計画と評価規準

4月	単元名・ばらばら言葉 を聞き取ろう	ことばのじゅんぴたいそう（1）
	指導目標 ◎相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すことができる。 言語活動 ■ばらばら言葉を伝える	
	学習活動	指導上の留意点
1上巻の国語の学習を見通す。 2「ばらばら言葉を聞き取ろう」のきまりを説明する。 3グループで、ばらばらにする言葉を考える。 4グループごとに、ばらばら言葉を言う。		・児童の関心が聞き取ることの視点にかたよらないようにする。 ・児童が自ら課題を決めて学習に取り組めるようにする。
(関) 進んで友達と話し合ったり、友達が言っていることを聞こうとしたりしている。 (読) 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱などに注意したりして話している。 (言) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。		
4月	単元名・教材名	詩を楽しもう 春のうた・いつも気をつけよう/つづけてみよう（1）
	指導目標 ◎情景を想像し、リズムを楽しみながら、工夫して音読する。 言語活動 ■詩を音読する。	
	学習活動	指導上の留意点
1扉の詩を読み、目次を見て、上巻の学習を見通す。 1年継続して、「ちょっと相談」や「言葉の手帳」のように取り組むことを確認する。 2春の情景やかえるの様子を思い浮かべ、音読する時に気を付けることを確認し、「春のうた」を音読する。		・「春」のイメージを言葉にした後、かえるの気持ちを想像させる。繰り返しやはずむようなリズムを楽しみながら読ませる。 ・冬眠から目覚めたかえるを想像するため、目隠しした後に読ませるなど、動作化等活用する。
(関) 表現の仕方や言葉のリズムを楽しみ、声に出して詩を楽しんでいる。 (読) 詩の形式に注意しながら、人物の気持ちや場面の様子が分かる言葉をとらえ、読み方を考えて音読している。 (言) 言葉を書きため、理解表現のための言葉を増やしている。		
4月	単元名・教材名	登場人物の人がらをとらえ、話し合おう 白いぼうし（8）
	指導目標 ◎人物の心情の変化や、場面の様子を読み取り、よく分かるように音読劇をする。 言語活動 ■簡単な感想文。	
	学習活動	指導上の留意点
1学習の見通しをもつ。 2場面と登場人物を整理する。3「松井さん」の人柄を捉える。 4「松井さん」の人柄について、考えたことを発表する。 5友達の発表を聞いて、思ったことや考えたことをノートに書き、それをもとに話し合う。 6教材文を読んで、不思議だなと思った場面について話し合う。 7最後の場面の続きを、ちょうたちの気持ちを想像して書く。 8学習を振り返る。		・場面ごとに登場人物を確認し、行動や会話に表れる気持ちを考えさせる。 ・色やにおいを表す言葉を手がかりにまわりの様子や情景を想像させる。 ・読み取ったことを基に、思ったこと考えたことを元に話し合う。
(関) 叙述に着目して物語を読み、登場人物の人柄を捉え、進んで話し合っている。 (読) 表現の工夫に着目して情景を読むとともに、行動や会話から、人物の気持ちや性格を想像している。 (言) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をしている。		
4月	単元名・教材名	漢字の組み立て（2）
	指導目標 ◎部首に関する漢字の組み立てについて知識をもち、漢字辞典の使い方を知り、部首や成り立ち等について知識をもつ。 言語活動 ■興味のある漢字を辞典で調べ、それを基に、説明する文章を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
1教材のカードを分類し、漢字は幾つかの部分から組み立てられていることや、部分に名前があることを知る。 2漢字のへん、つくりなどの構成について知り、漢字の組み立てについて考える。		・教科書に出ている漢字を、それぞれ二つの部分に分けた教材カードを用意し、カードを合わせて正しい漢字にするというゲームをする。 ・漢字組み立てゲームを行い、意欲を高め、定着を図る。 ・自分の名前の漢字など関心のある漢字を調べて、カードを作る。
(関) 漢字の組み立てや、部分に名称があるということに興味をもつとともに、進んで調べようとしている。 (言) 漢字を組み立てている部分の名称や意味を理解している。		
4	単元名・教材名	国語辞典の使い方（2）

	指導目標 ◎部首に関する漢字の組み立てについて知識をもち、漢字辞典の使い方を知り、部首や成り立ち等について知識をもつ。 言語活動 ■興味のある漢字を辞典で調べ、それを基に、説明する文章を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 漢字辞典を使うと、漢字の読み方、成り立ち、意味、その漢字を使った語句などを調べることができることを知る。 2 「音訓索引」「部首索引」「総画索引」を使った調べ方を知り、漢字辞典を使う練習をする。	・漢字辞典を用意し、音訓引き、部首引き、総画引きが確実にできるようにする。 ・自分が調べたい漢字を漢字辞典で調べるなどして漢字辞典の使い方に慣れさせる。
	(関) 漢字辞典のしくみを理解して、進んで調べようとしている。 (言) 漢字辞典の引き方や画数の教え方を理解し、漢字辞典を使って調べている。	
4月	単元名・教材名	春の風景（2）
	指導目標 ◎春の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。 言語活動 ■季節の手帳をつくる。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 写真を見たり、俳句を読んだりして、春の風景や様子を表す言葉を考える。 2、「きせつの手帳」を書き、友達と交流する。	・様々な写真や絵を用意することで、イメージや言葉をふくらませることができるよう支援する。 ・集めた言葉を「季節の手帳」というを作る。
(関) 季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。 (書) 春の風景に興味をもち、それに関わる言葉を「きせつの手帳」に書いている。		
4月	単元名・教材名	話し合いのしかたについて考えよう よりよい学級会にしよう・話す言葉は同じでも（4）
	指導目標 ◎司会や提案者の役割を理解し、互いの意見の共通点と相違点を考えながら話し合う。 言語活動 ■学級会の仕方話し合っ、考えをまとめたり意見を述べたりすること。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学級会を振り返り、失敗したことや困ったことを話し合う。 2 話し合いの中で、必要な役割を考える。よりよい話し合いの仕方を音声CDを聞いてまとめる。 3 発言の仕方考える。 4 身近な話題で話し合いを行う。	・話し合いには、意見をまとめる場合と、様々な意見を出す場合があることを知らせる。 ・司会・書記・時間係の仕事の内容や司会進行の台本を用意し、理解させる。 ・発言のルールや「話す言葉を同じでも」を活用し、よりよい発言の仕方考え、教室掲示しておく。
(関) よりよい話し合いのため必要なことを考えている。 (話・聞) 自分と他の人の発言の仕方を比較して考え、話し合う時の役割・目的を考え参加している。 (言) 話し合いを進める言葉、人間関係を損なわない言葉や話し方について考えている。		
5月	単元名・教材名	きょうみをもったところを発表しよう 大きな力を出す/動いて、考えて、また動く（8）
	指導目標 ◎筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係、段落相互の関係を考える。 言語活動 ■筆者の考えについて自分の考えをまとめる。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 「大きな力をだす」を読んで、段落のつながりや、事実・説明・筆者の考えのどれにあたるかを考え、自分の感想をもつ。 2 「動いて、考えて、また動く」を読んで学習計画を立てる。 3～6段落相互の関係をとらえながら読む。 7～8筆者の考えをどう思うかをはっきりさせて、自分の考えを生活経験を織り交ぜながら書く。 9～10書いた物を読み合い、一人一人の感じ方に違いを知る。学習のまとめをする。	・繰り返し、音読することで、事実・説明・考えのどれにあたるかを考える。 ・図と本文を対応させながら読む。 ・自分の考え（結論）を始めに書いて、次になぜならばという理由を生活経験から書くというモデル文を示した上で児童に書かせる。 ・友達の作文を読み合い、自分と似ているところや違うところを付箋で書いて交流する。
(関) 説明的な文章を自分の経験や知識と照らして読もうとしている。 (読) 事実と考えを読み分け、段落相互の関係を理解している (書) 筆者の考えに対して、自分の考えを根拠を基に書いている。		
5月	単元名・教材名	漢字の広場①（2）
	指導目標 ◎三年生までに配当されている漢字を文中の中で書き、使える。 言語活動 ■絵を見て想像ことを基に書く	
	学習活動	指導上の留意点

<p>1 絵を見て町や周りの様子を想像し、提示された漢字を使って、町を紹介する文作りをする。</p> <p>2 書いた文を読み返し、間違いを正したり、詳しい文に書き直したりする。</p>	<p>・一文ずつ短冊に書き、文章の構成を考えて町の紹介作文を作る。</p>
<p>(関) 絵に描かれている様子を文に表そうとしている。</p> <p>(書) 書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。</p> <p>(言) 提示された漢字を正しく使って文を書いている。</p>	

5月	単元名・教材名	声に出して楽しもう 一茶・蕪村など(1)
<p>指導目標 ◎文語調の短歌や俳句を音読し、情景を想像しながら特有のリズムを感じ取ることができる。</p> <p>言語活動 ■音読したり暗唱したりする。</p>		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 文語調の短歌や俳句を声に出して読み、リズムや響きを味わう。</p>		<p>・気に入った短歌や俳句を選び、音読したり暗唱したりし合う。</p>
<p>(関) 五七調の調子を楽しみ、リズムをつかんで声に出して読もうとしている。</p> <p>(言) 好きな俳句・短歌を選び、語感やリズムに気を付けて読んでいる。</p>		

6月	単元名・教材名	調べたことを整理して書こう 新聞を作ろう(5)
<p>指導目標 ◎新聞のとくちょうや作り方を理解し、伝えたいことが明確になるよう見出しを工夫し、文章を書くことができる。</p> <p>言語活動 ■新聞を作る。</p>		
学習活動		指導上の留意点
<p>1～2 新聞を見て、気付いたことを話し合い、作り方の手順と割り付けの工夫を知る。</p> <p>3～5 新聞にしたい題材を学校生活等から選び、新聞を作成する。</p>		<p>・新聞社の新聞や児童が作った新聞等を見比べて話し合う。</p> <p>・記事にしたい内容を選び、割付を考えて、それぞれに下書きをする。</p> <p>・必要なことを落とさず書いているか、推敲する。</p>
<p>(関) 新聞の特徴を知り、進んで新聞を作ろうとしている。</p> <p>(書) 書く内容を整理し、内容が明確になるよう見出しを付け、図やグラフを効果的に用いて文章を書いている。</p> <p>(言) 書いた文章を読み返し、句読点や改行について確かめている。</p>		

6月	単元名・教材名	いろいろな意味をもつ言葉(2)
<p>指導目標 ◎多義語について知り、言葉への興味を広げることができる。</p> <p>言語活動 ■多義語を使って、言葉遊びの詩を作る。</p>		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 多義語を用いた詩や例題を読んで、多義語があることを理解する。</p> <p>2 国語辞典を使って、多義語を探し、言葉遊びの詩を作る。</p>		<p>・例に出されている詩を繰り返し読み、動作化も活用し、「とる」の説明を、行わせる。</p>
<p>(関) 多義語を使った詩のおもしろさを理解し、国語辞典を使って調べようとしている。</p> <p>(言) 多義語の使い方について理解している。</p>		

6月	単元名・教材名	物語を読んでしようかいしよう 一つの花(8)
<p>指導目標 ◎場面の移り変わりに注意し、登場人物の気持ちの変化や情景を叙述を基に想像して読む。</p> <p>言語活動 ■物語を読んで紹介する。</p>		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 平和をテーマにした本を読んで紹介するという学習課題を理解し、「一つの花」の紹介文から、内容を予想する。</p> <p>2 物語の設定を確かめ、ゆみ子の口癖と口癖になった訳を考える。</p> <p>3 ゆみ子の口癖について父母の会話や様子から気持ちを想像する。</p> <p>4 戦争に行く父や見送る母とゆみ子の会話や様子から気持ちを想像する。</p> <p>5 本文の最後を読み、繰り返し出て来た言葉や心に残った言葉と関連付けながら、作者との思いや願いについて考える。</p>		<p>・題名から内容を予想した後、「一つの花」の紹介するモデル文を作成し示すことで学習の目的意識を高め、戦争や平和に関する本を予め紹介する。</p> <p>・戦争していたころの様子について予め、家庭で聞き取りをさせる。</p> <p>・毎時間の学習の終わりに、父母のどちらかの立場に立って、ゆみ子の手紙を書くことで平和について考えをまとめさせる。</p>

<p>6 紹介するために着目する観点に沿って、「一つの花」の紹介文を考える。</p> <p>7~8 並行読書していた「平和」に関する本の紹介文を書き、本を提示しながら紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとつだけ」といっていたゆみ子が「どっちがいいの」と話す違いに気付かせる。 ・P74を参考にして紹介文を書かせる。
<p>(関) 場面の様子を想像しながら読んで、感想を話し合おうとしている。</p> <p>(読) 会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。</p> <p>(言) 様子を表す言葉について考え、表現するときに必要な語句を増やしている。</p>	

7月	単元名・教材名	夏の風景（2）
指導目標 ◎夏の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。		
言語活動 ■俳句を作る。		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 季節の移り変わりや自然の変化に目を向け、「夏」という言葉から思い付くものを集めたり、俳句を作ったりする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・夏にかかわる写真や絵を用意して、イメージがもてるように支援する。 ・夏に関係のある俳句を準備する。
<p>(関) 進んで夏の風景を言葉にしたり、書き出したりしようとしている。</p> <p>(書) 俳句を作り、交流している。</p> <p>(言) 夏にかかわる語句を増やしている。</p>		

7月	単元名・教材名	自分の考えを伝えるには（7）
指導目標 ◎夏の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。		
言語活動 ■俳句を作る。		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 P85の話題例を参考に、話題を確かめて自分の考えを決める。</p> <p>3 P85を参考に、理由と、それに関する事例を書き出す。</p> <p>4 書くときに気をつけることを確かめる。</p> <p>5 意見文を書くときの組み立てを学ぶ。</p> <p>6 考えがはっきりと伝わるような組み立てについて話し合う。</p> <p>7 自分の考えが伝わる組み立てかどうかを友達と確認し合う。</p> <p>8 学習を振り返る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがはっきり伝わるようにすることが学習の中心になるように押さえる。 ・説得力のある文章を書くという観点で意見をもベル用に促す。 ・意見文の特徴を振り返り、他教科でも意見文を書くときに活用していくようにする。
<p>(関) 意見文の組み立てを考えながら、自分の考えを伝えようとしている。</p> <p>(書) 自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。</p> <p>(言) 句読点を適切に打ったり、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めたりして書いている。</p>		

7	単元名・教材名	漢字の広場②（2）
漢字の広場①（5月）に準ずる。		

7月	単元名・教材名	本は友達 本は友達/かげ（6）
指導目標 ◎いろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読み、読んで考えたことは一人一人違うことに気付く。 ◎書こうとする内容を目的や必要に応じて、絵・図・引用などを用いて書くことができる。		
言語活動 ■紹介したい本を選び、ポスターを作って紹介する		
学習活動		指導上の留意点
<p>1 様々な読み物を発表し、読んでいる目的を合わせて考える。</p> <p>2 物語と説明的な文章を比べ、読み方の違いに気付く。</p> <p>3 「黒ねこサンゴロウ」シリーズのポスターをみて、ポスターの書き方を理解する。</p> <p>4 「かげ」を読んで、感想を交流し、キャッチコピーを考える</p> <p>5~6 紹介したい本を選び、キャッチコピーを考え、ポスターにまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、ちらし、ポスター等、様々な読み物を用意する。 ・取扱い説明書等読む目的が明確なものを用いて、目的を考える。 ・ポスターを見て、気付いたことや必要なことを理解する。 ・「かげ」の感想をグループで交流し、キャッチコピーをグループで考えてみる。 ・絵・図等ある場合とない場合を比較させ、効果的に用いることに気付かせる。

(関) 目的による読み物の読み方の違いに興味をもち、自分の読み方を振り返って考えようとしている。
(読) 読み物には様々な文種があることを理解し、これまでの体験を振り返り、自分の読み方を自覚している。
(書) 書く目的を理解し、書く内容を明確にして書いている。
(言) 言葉や表現の違いや内容を一言で表す言葉の働きに気付いている。

9月	単元名・教材名	詩を楽しもう 忘れもの/ぼくは川 (2)	
	指導目標	◎様子や気持ちを想像しながら音読し、詩を読んで考えたことを交流できる。	
	言語活動	■詩を読んで感想を述べ合う。	
		学習活動	指導上の留意点
		1 「忘れもの」と「ぼくは川」を読み、それぞれの表現の工夫に気付き、気に入った表現を見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・擬人法を用い、呼びかけのよさに気付かせる。 ・倒置や名詞止めの余韻を味合わせる。 ・繰り返して強調される作者の思いに気付かせる。
		2 2つの詩を比べ、気に入った詩を選び、理由と感想を発表し、音読をする。	
		(関) 表現に着目して、詩を読むことや音読することを楽しんでいる。	
		(読) それぞれの詩の工夫に気付き、好きな理由や感想をもっている。	
		(言) 表現の工夫に目を向け、考えや思いを表現する言い回しや語句を増やしている。	

9月	単元名・教材名	カンジーはかせの漢字しりとり (2)	
	指導目標	◎漢字しりとりを楽しみ、漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。	
	言語活動	■漢字熟語クイズを作る	
		学習活動	指導上の留意点
		1 漢字しりとりのいろいろなやり方を理解し、グループで漢字しりとりを行い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のしりとりの次の漢字の言葉を考えさせることでやり方を確実に理解させる。 ・グループで漢字しりとりをしたり、漢字熟語クイズを作らせたりして、グループで対抗させることを通して意欲を高める。
		2 熟語を作る漢字クイズに挑戦し、グループで漢字熟語クイズを作り、他のグループと交流する。	
		(関) 進んで問題に取り組もうとしている。	
		(言) 問題に解答して、正しく漢字を書いている。	

9月	単元名・教材名	調べて発表しよう だれもがかかわり合えるように (15)	
	指導目標	◎関心のある事柄を調べ、要点をメモし、理由や事例などをあげながら筋道を立てて話すことができる。	
	言語活動	■調査の報告をしたり、報告を聞いて意見を述べたりする。	
		学習活動	指導上の留意点
		1~2 「手と心で読む」を読み、点字をはじめ、社会の様々な人のために作られているものを確認し合い、自分で調べたいことを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある点字ブロックや案内板の写真を用意し、身の回りにある問題であることを意識させる。 ・「手と心で読む」を読んだ後、「点字のあいうえお」を活用して、筆者の気持ちを考えさせる。 ・調べたい課題をクラス全体で出し合い、自分の課題を決めさせる。 ・学習の進め方やカードの記録の仕方を掲示しておく。 ・音声CDを聞き、発表の構成や話し方の工夫について知る。 ・発表会では内容面と発表の技能面での評価の観点を知らせる。 ・交流を通して考えを深める。発表には様々な形態があることを知る。
		3~7 課題の調べ方や、調べて分かったことのメモの取り方を理解し、計画を立てて調べる。	
		8~11 話すための構成を考え、メモを基に資料を作成する。	
		12~13 録音したり、友達と聞き合ったりしながら、よりよい発表にするために改善をする。	
		14~15 発表会を開き、内容と表現の工夫について評価し合うとともに、気付いたことを交流する。	
		(関) 課題について進んで調べ、友達に分かるように発表しようとしている。	
		(話・聞) 話の内容の大事なことが伝わるように、まとまりを意識して組み立てを考えたり工夫したりして話している。また、発表会では、大事なことや質問したいことをメモに取ったり発言したりしている。	
		(言) 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	
10月	単元名・教材名	読んで考えたことを話し合おう ごんぎつね	
	指導目標	◎場面の移り変わりに注意しながら人物の性格や気持ちの変化、情景など叙述を基に想像して読むことができ、読んで考えたことを発表し、一人一人の感じ方の違いに気付く。	
	言語活動	■物語を読んで考えたことを話し合う。	
		学習活動	指導上の留意点

	<p>1扉の詩や目次を見て、下巻の学習を見通すとともに、「ごんぎつね」を読み、感じたことを出し合う。</p> <p>2～7「ごん」や登場人物の行動や言葉から、気持ちの変化を読み取るとともに、情景描写などの地の文からも想像を深める。毎時間の終わりに読み取ったことを基に「ごん日記」を書く。</p> <p>8詳しく読んだことを基に、感じたことを叙述や自分の経験から理由を明確にして感想を書く。</p> <p>9～10話合いの進め方を知り、グループごとに確かめ、話し合う。</p> <p>11表現のよさや似た言葉であっても使い分けされていることに気付き、理由を話し合う。</p> <p>12～13 きつねの出てくる物語を読み、「ごんぎつね」と比べて感想を交流しあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過や場面ごとに行動や・会話を取り出し、その言動に隠された気持ちを想像する。 ・毎時間の始まりに、前時の「ごん日記」のよいものを2、3点紹介し、意欲を高めるとともに日記の書き方のモデルを示す。 ・感じたことを百字程度にまとめるために、一つの場面や事象に絞り、考えを書かせる。
	<p>(関) 進んで叙述に着目して読み、感じたことや考えたことを話し合おうとしている。</p> <p>(読) 会話や行動、情景を表す言葉から、人物の性格や気持ちを読み取っている。</p> <p>(言) 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>	
10月	<p>単元名・教材名 秋の風景（1）</p> <p>指導目標 ◎秋の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やすことができる。</p> <p>言語活動 ■手紙を書く。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1「秋」から思い浮かべることを話題にして言葉を集め、秋を感じた様子を紹介し、相手を決めて手紙を書く。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋にかかわる写真や絵を用意して、イメージがもてるように支援する。 ・秋に関係のある俳句を準備する。
	<p>(関) 進んで秋の風景を言葉にしたり、書き出ししたりしようとしている。</p> <p>(書) 相手を決めて、内容を明確にして手紙を書いている。</p> <p>(言) 秋にかかわる語句を増やしている。</p>	
11月	<p>単元名・教材名 慣用句（2）</p> <p>指導目標 ◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、生活の中で使うことができる。</p> <p>言語活動 ■慣用句をつかって短文作りをする。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1教科書や国語辞典を活用して、様々な慣用句を集め、使われ方・成り立ちなどを表などにまとめる。</p> <p>2慣用句を使って短文作りを行い、友達と交流することで理解を深める。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方は表や短冊にするなどのモデルを示し、整理しやすい方法を選ばせる。 ・慣用句の中には、時代に合わなくなったものや相手にいやな気持ちさせるものもあるので配慮する。
	<p>(関) 慣用句に関心をもち、進んで調べようとしている。</p> <p>(言) 国語辞典を使って慣用句の意味や使い方を調べ、文の中で使っている。</p>	
11月	<p>単元名・教材名 説明のしかたについて考えよう アップとルーズで伝える（8）</p> <p>指導目標 ◎段落の役割を考えながら読み取り、「アップ」と「ルーズ」の特徴をまとめることができる。</p> <p>言語活動 ■説明の文章を読み、説明の工夫について考える。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

	<p>1本文を読み、話の大体をつかみ、筆者の説明の工夫を見つけてという課題を理解する。</p> <p>2形式段落1～3を詳しく読むとともに、本文と写真を対応させて、「ルーズ」と「アップ」の効果的な説明に気付く。</p> <p>3形式段落4～5を写真を活用して、本文を詳しく読むとともに、筆者の考えをつかむ。</p> <p>4形式段落6を読むとともに、今までの段落相互の関係を理解する。</p> <p>5形式段落7～8を詳しく読み、文章全体の構成を理解する。</p> <p>6筆者の説明のよさを文章にまとめ、グループで交流する。</p> <p>7新聞や雑誌などの印刷物の写真を活用して、なぜそのような使われ方をしたのか等を1枚のレポートにまとめる。</p> <p>8グループで発表し、説明の工夫のよさを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、写真だけから読み手として受ける印象を出し合い、本文の説明と比べる。 ・接続語「しかし」「でも」に着目させる。 ・「このように」の意味を理解させ、今までの段落の働きに目を向けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞や雑誌の記者のねらいを考えさせるとともに、もう一枚写真を増やすとしたらどのような写真がよいかなども考えさせる。
	<p>(関) 写真と文章を対応させて、説明的な文章に興味をもって読もうとしている。</p> <p>(読) 段落の関係を理解し、文章全体の構成をとらえている。</p> <p>(言) 接続表現の意味を理解している。</p>	
11月	<p>単元名・教材名 写真と文章で説明しよう 「仕事リーフレット」を作ろう (7)</p> <p>指導目標 ◎関心のある事柄について書く内容を調べ、写真と文章を対応させながら中心を明確にした文章を書くことができる。</p> <p>言語活動 ■取材し、写真と文章を工夫してリーフレットを作成する。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1様々なリーフレットを持ち寄り、リーフレットを理解するとともに、写真と文章で仕事を説明するという課題を知る。</p> <p>2本文P38～39を読み、仕事リーフレットの作るために、題材を決め、調べたための取材メモを作る。</p> <p>3本文P40～41を読み、取材を基にした写真と文章のよさに気付く。</p> <p>4～5取材を基に、写真を4枚決めることで構成を考え、1枚の写真ごとに知らせたいことを200～300字程度で説明する。</p> <p>6レイアウトを考えて清書する。</p> <p>7リーフレットを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なリーフレットを用意する。 ・仕事の取材は、児童の実態に合わせる。児童だけの取材が困難な場合は、学年で3、4つの仕事の内容から選ばせて取材に行ったり、校内の仕事の内容から選ばせたりするとよい。それに応じて、リーフレットを見せる相手を設定し、相手意識をもたせる。 ・裏表紙には、取材を通して感じたこと等を後書きとして書かせる。 ・リーフレットのよさを一言感想として、付箋でリーフレットに付けて回し読みするとよい。はじめに設定した相手にリーフレットを届け、感想を聞く。
	<p>(関) 進んで材料を集めたり、分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。</p> <p>(書) 知らせたい題材を選び、文章のまとまりごとに段落に書き分けている。</p> <p>(言) 句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。</p>	
11月	<p>単元名・教材名 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう (1)</p> <p>指導目標 ◎文語調の短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じ取ることができる。</p> <p>言語活動 ■音読したり暗唱したりする。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1文語調の短歌や俳句を声に出して読み、五七調のリズムや美しい響きを味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・声に出して読み、気に入った短歌や俳句を選ぶ。 ・気に入った訳や箇所を友達に話し、音読したり、暗唱したりする。
	<p>(関) 五七調の調子を楽しみ、リズムをつかんで声に出して読もうとしている。</p> <p>(言) 好きな短歌や俳句を選び、五七調の語感やリズムに気を付けて音読している。</p>	
12月	<p>単元名・教材名 物語を読んで、感想文を書こう プラタナスの木 (9)</p> <p>指導目標 ◎登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。</p> <p>◎書こうとするものの中心を明確にし、理由を挙げて書くことができる。</p> <p>言語活動 ■物語を読んで感想文を書く。</p>	
	学習活動	指導上の留意点

	<p>1学習の見直しをもつ。 2教材文を読む。 3心に最も強く残ったことや感じたことを、一文で書く。 4書いた一文を読み合い、なぜそう考えたのか説明し合う。 5自分が体験したことや普段考えていることなどと比べながら、「初め」「中」「終わり」の組み立てで400字程度の感想文を書く。 6書いた感想を読み合い、推敲した後、清書する。 7季節や風景を生き生きと表す言葉や表現をノートに書き出す。 8学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題名から想像させることで、初めて読む際にあらずじに興味をもたせ、内容をつかませる。 ・感想の根拠を成る叙述を発表させる。 ・一人称で書かれていることの印象を話し合う。 ・自分の経験と関連付けて感想を書かせるようにする。 ・感想を書くときに使ってみたい言葉を効果的に使っているかを考えながら読み合わせる。
	<p>(関) 自分の体験と重ね合わせながら物語を読もうとしている。 (読) 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉えて読んでいる。 (書) 自分の知識・体験を根拠に考えたことを書いている。 (言) 感想を表す時に使う言葉や表現を増やしている。</p>	
12月	<p>単元名・教材名 漢字の広場④ (2)</p>	漢字の広場① (5月) に準ずる。
12月	<p>単元名・教材名 言葉について考えよう 文と文をつなぐ言葉 (7)</p>	
	<p>指導目標 ◎文と文のつながりを考えながら、接続語を使うことができる。 言語活動 ■接続語の文</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1接続語の使い方によって意味が変わる文を読んで、接続語の働きについて興味をもち、接続語について調べようという課題をもつ。 2~5 P62の表を基に、接続語の働きと使い方を確かめ、役割について理解する。 6~7教科書の課題に取り組み、接続語を適切に使って分かりやすく説明することについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の表を活用する際には、上2段のみをはじめに見せて理解し、3段目のつなぎ言葉は、児童で考えさせた後に見比べる。 ・課題を行った後、接続語の後に続く文を予想する問題を作り、友達と出し合う等して接続語の理解を深める。
	<p>(関) 接続語の使い方や違いを考えようとしている。 (言) 典型的な接続語をいくつか知り、理解し、適切に使って文を書いている。</p>	
1月	<p>単元名・教材名 詩を楽しもう のはらうた (2)</p>	
	<p>指導目標 ◎野原の住人の性格や思いを想像して「のはらうた」を読み、感想を述べ合い一人一人の感想の違いに気付く。 言語活動 ■詩を読み、感じたことを伝え合う。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1声に出して読み、情景を想像し話し合い、好きな詩について訳を言って紹介する。 2詩の特徴を理解して、野原の住人になりきって音読し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ詩を選んだ者同士で、音読の工夫について意見を交換し合って、音読の発表をする。
	<p>(関) 詩を楽しんでいる。 (読) 表現に着目して読んでいる。 (言) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>	
1月	<p>単元名・教材名 詩を書こう 野原の仲間になって (4)</p>	
	<p>指導目標 ◎「のはらうた」を参考に自分が作りたい詩について考え、よりよい表現に整えることができる。 言語活動 ■想像したことを基に詩を作る。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1クラスの「のはらうた詩集」を作ることを知り、自分は野原のどの住人になろうとするか考える。 2~3野原の住人になりきって見えてくる物や思ったことをメモに書いてから、詩に書く。 4書いた物を音読し、紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住人の視線の位置や生活などに目を向けてメモを取らせる。 ・住人の名前にも一工夫させる。
	<p>(関) 野原の住人になって詩を作ろうとしている。 (書) 住人の特徴をとらえ、よりよい表現にするために、見直して書いている。 (言) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>	
1月	<p>単元名・教材名 科学読み物をしようかいしよ ウナギのなぞを追って (10)</p>	
	<p>指導目標 ◎事実と考察の関係を押さえて読み、興味や関心をもったところを中心に、文章を要約したり引用したりして紹介することができる。 言語活動 ■科学読み物を紹介する。</p>	
	学習活動	指導上の留意点

	<p>1 科学読み物を紹介するという課題を知り、学習計画を立てて「ウナギのなぞを追って」を読む。</p> <p>2～6 興味をもった点について書かれている本文にラインを引き本文の読み取りを進め、毎時間の終わりに書かれている内容の小見出しを付ける。</p> <p>7～8 興味をもった観点での内容を要約し、内容に対する共感や考えを交えながら紹介する。</p> <p>9～10 科学読み物を1冊選び、内容を要約し、自分が共感したり驚いたりして紹介しようとした訳を交えながら紹介する文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習が始まると同時に、科学読み物を並行読書する。いろいろな科学読み物を教室のコーナーを設けて用意する。 ・写真や図表などを、本文と対応させて読む。 ・調査による事実か筆者の考察であるかを確認しながら読み進める。 ・毎時間、研究の時期、場所、大きさなどに整理しながら要約させる。 ・友達の紹介文との相違点を明確にしながら聞き、質問したり意見を言ったりして考えを深められるようにする。 			
	<p>(関) 事実と考察で構成された調査報告文に興味をもち、進んで読もうとしている。</p> <p>(読) 目的によって大事な言葉や文章が変わることを理解し、必要な情報を取り出し、目的に応じて要約している。</p> <p>(言) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>				
2月	単元名・教材名	大事なことを落とさずに聞こう 聞き取りメモの工夫 (6)			
	指導目標	◎話す要点をメモに取り、自分の目的と照らして、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞く。			
	言語活動	■大事なことをメモを取りながら聞く。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 メモを取りながら話を聞き、後で要点がメモされているか確かめ、メモの取り方の学習のめあてを知る。</p> <p>2～4 教科書のメモを見比べ、よりよいメモの取り方を理解し、音声CDや先生の説明をメモを取りながら聞く。</p> <p>5～6 聞き手がメモを取りやすいように、話す要点をまとめて話すとともに、友達の話をメモを取りながら聞く。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かして、3年生にクラブ活動の紹介するメモを作るとともに、リハーサルで友達のクラブ紹介をメモを取りながら聞く。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 メモを取りながら話を聞き、後で要点がメモされているか確かめ、メモの取り方の学習のめあてを知る。</p> <p>2～4 教科書のメモを見比べ、よりよいメモの取り方を理解し、音声CDや先生の説明をメモを取りながら聞く。</p> <p>5～6 聞き手がメモを取りやすいように、話す要点をまとめて話すとともに、友達の話をメモを取りながら聞く。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 メモを取りながら話を聞き、後で要点がメモされているか確かめ、メモの取り方の学習のめあてを知る。</p> <p>2～4 教科書のメモを見比べ、よりよいメモの取り方を理解し、音声CDや先生の説明をメモを取りながら聞く。</p> <p>5～6 聞き手がメモを取りやすいように、話す要点をまとめて話すとともに、友達の話をメモを取りながら聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かして、3年生にクラブ活動の紹介するメモを作るとともに、リハーサルで友達のクラブ紹介をメモを取りながら聞く。 				
	<p>(関) 聴き取りながら、メモについて考えようとしている。</p> <p>(話・聞) 目的や必要に応じて情報を聞き分け、大事なことを聞き分けている。</p> <p>(言) 目的に応じて漢字と仮名を使い分けている。</p>				
2	単元名・教材名	漢字の広場⑤ (2)			
		漢字の広場① (5月) に準ずる。			

2月	単元名・教材名	熟語の意味 (2)			
	指導目標	◎訓や漢字の組み合わせを手がかりにして、熟語の意味を考えるとともに、これまで学習した漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。			
	言語活動	■熟語カルタを行う。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 熟語の意味を理解し、訓を手がかりに、それぞれの熟語の意味を考える。</p> <p>2 熟語の漢字の組み合わせを考え、組み合わせ方で分類し、国語辞典で意味を調べる。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語カードを作り、裏には意味を書いて、意味を読み上げたらカードを取るなど、カルタのように興味をもたせながら、本時終了後にもカードで定着を図る。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 熟語の意味を理解し、訓を手がかりに、それぞれの熟語の意味を考える。</p> <p>2 熟語の漢字の組み合わせを考え、組み合わせ方で分類し、国語辞典で意味を調べる。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 熟語の意味を理解し、訓を手がかりに、それぞれの熟語の意味を考える。</p> <p>2 熟語の漢字の組み合わせを考え、組み合わせ方で分類し、国語辞典で意味を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語カードを作り、裏には意味を書いて、意味を読み上げたらカードを取るなど、カルタのように興味をもたせながら、本時終了後にもカードで定着を図る。 				
	<p>(関) 熟語の成り立ちや意味に興味をもち、進んで調べたり考えたりしようとしている。</p> <p>(言) 熟語を構成する漢字の組み合わせを知り、訓から熟語の意味を考えたり、辞典を活用して意味を確かめたりしている。</p>				

2 3 月	単元名・教材名	調べて、まとめて、読み合おう 「わたしのけんきゅうレポート」(15)				
	指導目標	◎書くことを決めて、必要な事柄を調べ、要約や引用を行いながら、明確な文章を書くことができる。				
	言語活動	■本で調べて「けんきゅうレポート」を作る。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点		
学習活動	指導上の留意点					

	<p>1 「研究レポート」を作るという課題の学習計画を立てる。</p> <p>2 調べたいことを決める。</p> <p>3～6 調べたことわざ1つずつカードを作り、国語辞典や本などで調べる。</p> <p>7 調べたことわざを整理し、報告書のまとめかたを知る。</p> <p>8～12 本として必要な目次・始め・終わりの構成、絵や配置の工夫をしながら、レポートにまとめる。</p> <p>13～15 できあがった「研究レポート」を読み合い、感想を交流し、さらにことわざや故事成語に関心を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを自分で決めさせる。 ・調べた意味を書くカードを用意し、ブックに活用できるようにする。 ・文章を引用する時のルールを確認させる。 ・ペアなどでお互いのレポートを読み合い、感想を伝え合う活動をする。
	<p>(関) 自ら進んで調べて、調べたことや考えたことを書こうとしている。</p> <p>(書) 調べたいことを決め必要に応じて情報を集めたり、必要に応じて引用したり、要約したりして書いている。</p> <p>(言) 辞書を活用して、適切な言葉を用いている。</p>	
3	単元名・教材名	漢字の広場⑥(2)
	漢字の広場①(5月)に準ずる。	

3月	単元名・教材名	まちがしやすい漢字(2)
	指導目標	◎同音異義語や同訓異字の使い分けを通して、漢字や語句の意味の違いに気づき、文や文章の中で使うことができる。
	言語活動	■言葉の玉手箱作りをする。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 教科書を読み、平仮名で書くと同じになる言葉について考える。</p> <p>2 なじみのない読み方をする言葉の意味を国語辞典で調べ、短い文を作る。</p> <p>3 意味と結び付けた読み方について、P137「これまでに習った漢字」を使って、音訓を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とクイズを出し合うことで、自分が気づかなかった漢字に親しみめるようにする。 ・
	<p>(関) 漢字と仮名を用いた表記に関心をもち、自分が間違えやすい漢字を確かめようとしている。</p> <p>(言) 同じ発音でも違う漢字で表す言葉があることを理解している。</p>	

3月	単元名・教材名	感じたこと伝わるように音読しよう 初雪のふる日(7)
	指導目標	◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を読み取ることができる。
	言語活動	■物語を読み、読後感が生まれる秘密を探る。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 4年で学習した物語文を振り返り、それぞれの作品らしさを確かめ、作品の秘密を探るという課題を確認する。</p> <p>2～6 「初雪のふる日」を読み、読後の感想を交流し、作品の秘密を探る。</p> <p>7～9 他の安房直子作品を読み、読後感をその理由をグループで交流する。</p> <p>10 単元全体を振り返り、感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習した作品の感想文や絵本を用意し、思い出しやすいようにする。 ・場面や登場人物の様子がよく分かるように、声の抑揚、強弱、間の取り方などに気をつけて音読している。 ・安房直子作品をできる限り多く用意する。 ・作品と自分の経験を比べたり、表現の仕方でも感じたことを整理して書く。
	<p>(関) 作品から得られる印象について、進んで考えようとしている。</p> <p>(読) 情景を表す文や語句、登場人物の気持ちやその変化を表している文や語句に着目して読んでいる。</p> <p>(言) 場面や登場人物の様子がよく分かるように、声の抑揚、強弱、間の取り方などに気をつけて音読している。</p>	

3月	単元名・教材名	漢字の広場⑥(2)
	漢字の広場①(5月)に準ずる。	

3月	単元名・教材名	十年後のわたしへ(2)
	指導目標	◎目的に合った内容を考えて、手紙を書くことができる。
	言語活動	■手紙
	学習活動	指導上の留意点

	1 生まれてから十年間の出来事を振り返ったり、これからの十年間を想像したりして、簡単な手紙を書く。	・10年間の自分、10年後の自分などが想起できるようにする。
	(関) ふさわしい言葉を選んで、手紙を書こうとしている。 (書) 書いた手紙を読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	

第4学年書写 年間指導計画

ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。

イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

月	単元名・教材名	時数	目標	主な学習活動と留意点
4月	書写で学習したことは、どんな場面で生かせるかな 筆順と字形1] ◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。〔	毛筆2～3	◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。	1「左」「右」それぞれの横画と左払いを指でなぞり、筆順と字形の関係を話し合う。 2筆順によって、画の長さが変わることがあることを知る。 3「左右」の筆順と字形の関係を確かめる。 4筆順と字形の関係に気を付けて、毛筆で「左右」を書く。 5毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く
5・6月	筆順と画の付き方1	硬筆1～2	◎筆順と画の始筆の付き方を理解して書くことができる。	1「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方の違いを話し合う。 2画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを知る。 3学習したことを生かして、硬筆で言葉を書く。
7月	部分の組み立て方（左右）	毛筆3	◎左右の部分の組み立て方を理解して書くことができる。	1「土」と「つちへん」の違いを話し合う。 2左右の部分の組み立て方を知る。 3「地」の部分の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4左右の部分の組み立て方に気を付けて、毛筆で「地」を書く。 5毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。
9・10月	部分の組み立て方（「かまえ」「たれ」）	毛筆2	◎「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方を理解して書くことができる。	1「もんがまえ」と「まだれ」の中に入る部分をシールで貼り、どうすれば字形が整うかを話し合う。 2「かまえ」や「たれ」を部分に持つ漢字の組み立て方を知る。 3「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方に気を付けて、「もんがまえ」や「まだれ」のある漢字を毛筆や硬筆で書く。
11月	漢字とかなの大きさ、配列（行の中心と字間）	硬筆2	◎漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）を理解して書くことができる。	1二つの「お月見の会」と「遊びに来てください。」を見て、文や文章を読みやすく書くポイントを話し合う。 2漢字を大きめに、平仮名を小さめに書くと、読みやすくなることを知る。 3行の中心を揃え、字間を同じくらい空けて書くと、読みやすくなることを知る。 4漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に気を付けて、硬筆で文章を書く。
12・1月	書きぞめ	毛筆3～5	◎これまでに学習したことに気を付けて書くことができる。	1「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。 2これまでに学習したことに気を付けて、毛筆で「出発」や「流れる星」を書く。 3これまでに学習したことに気を付けて、硬筆で「田子のうらに…」を書く。
2・3月	四年生のまとめ	毛筆3	◎これまでに学習したことを確かめ、めあてを決めて書くことができる。	14年生で学習したことを確かめ、「知る」を書くときに生かせることを話し合う。 2「知る」を書くときのめあてを決め、めあてに気を付けて毛筆で書く。

--	--	--	--	--